

平成 27 年 研究業績

[Researches and Social Works in 2015]

研究業績

■ 河田 惠 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 実践的防災を先導する「人と防災未来センター」	単著	2015年1月17日	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構	翔ベフェニックスII 防災・減災社会の構築, pp.109-134
巨大地震への備え	単著	2015年3月11日	潮出版社	災害と文明, pp.168-173
津波に負けないすまいとまちをつくらう！	単著	2015年3月11日	技報堂出版	pp.220
予防への災害リスク評価手法	単著	2015年3月30日	ミネルヴァ書房	リスク管理のための社会安全学部, pp.85-106
百年後のふるさとを守る	単著	2015年4月1日	光村図書	国語教科書5年生 pp.157-169
災害対策全書(別冊)「国難」となる巨大災害に備える～東日本大震災から得た教訓と知見～	単著	2015年9月25日	ぎょうせい	総論 pp.2-5, 42-45, 106-107, 362-365, 516-517, 序章pp.18-21, 第1章pp.46-53, pp.234-237, pp.240-243
防災——南海トラフ地震・津波への備えを急げ	単著	2015年11月10日	学芸出版社	大都市自治を問う 大阪・橋下市政の検証, pp.163-178
(学術論文) 高まる巨大災害リスク、企業の対応は	単著	2015年1月1日	浜銀総合研究所	ベストパートナー, 第27巻第1号, pp.15-19
乗り越えよう災害多発時代	単著	2015年1月1日	ウォーターアンドライフ社	ウォーターアンドライフ, No.586, pp.4-11
災害X時間前にすべきこと	単著	2015年1月10日	中央公論新社	中央公論, 第129巻2号, pp.176-181
災害多発時代の災害対策は被害先行型から対策先行型へ	単著	2015年1月26日	一般社団法人プレハブ建設協会	JPA, Vol.43.No.252, pp.17-19
語り継ぐことの大切さ	単著	2015年2月1日	神戸市危険物安全協会	雪(震災20年号), 第67号第2号(通巻764号), pp.16-17
超巨大災害への備えを急げ	単著	2015年1月30日	読売新聞社	読売クォーターリー, No.32, pp.12-19
防災への意識を高める	単著	2015年2月25日	光村図書	社会5 学習指導書(指導編), pp.20-21
巻頭言 阪神・淡路大震災20周年に臨んで～この災害から学び、減災社会(Resilient Society)を実現する	単著	2015年2月28日	日本自然災害学会	自然災害科学, Vol.44, No.4, pp.327-336
論説 災害多発時代の防災・減災——特に必要な複合防災の考え方——	単著	2015年3月1日	公益財団法人 高速道路調査会	高速道路と自動車, Vol.58.No.3, pp.3-6
監修のこたば	単著	2015年2月1日	日本赤十字社大阪府支部	大阪府民のための巨大地震への備え, 裏表紙
大震災から4年——復興の現状と課題	単著	2015年3月1日	中央文化社	地方議会人, 第45巻第10号, pp.12-16
災害多発・激化時代の減災社会への貢献～中学生・高校生の防災リーダーへの期待～	単著	2015年3月1日	兵庫県立舞子高等学校	全国防災ジュニアリーダー育成合宿記録集, pp.2-13
自治体の災害対応行動計画策定に資するネットワーク図原型の形成——阪神・淡路大震災を事例として——	共著	2015年3月1日	日本災害情報学会	災害情報, No.13, pp.34-47
災害対策先行型の新たな減災社会の構築を目指して	単著	2015年3月1日	新潟県中越地震復興検証調査会	新潟県中越地震復興検証報告書, pp.3
防災教育の可能性と未来への提言	単著	2015年3月1日	NPO法人 さくらネット	ほうさい甲子園～未来の奇跡を育み始めた10年間～, pp.3
南海トラフ巨大地震に伴う最悪被災シナリオ～とくに空港、港湾、鉄道、道路などの社会インフラ～	単著	2015年3月1日	公益財団法人 関西交通経済研究センター	災害対策シンポジウム～阪神・淡路大震災20年を迎えて～講演記録, pp.4-22
巻頭言	単著	2015年3月1日	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構	21世紀ひょうご, Vol.18, pp.1-2
Build Back Better Than Before (Disaster Risk Reduction)	単著	2015年3月11日	Cabinet Office	Highlighting Japan, No.85, pp.6-7
大阪摂河洪水図	単著	2015年3月31日	一般社団法人 日本損害保険協会	予防時報, No.261, pp.38

災害と共有できるまちを創る	単著	2015年3月31日	一般財団法人 アジア太平洋研究所	うめきた研究会講演概要集, 15-01, pp.47-55
来るべき『国難』に備えて 第1回『過度の東京一極集中』	単著	2015年7月7日	自由民主党	機関紙『自由民主』7月7日発行号
来るべき『国難』に備えて 第2回『繰り返す巨大複合災害』	単著	2015年7月14日	自由民主党	機関紙『自由民主』7月14日発行号
来るべき『国難』に備えて 第3回『国が衰退する物語』	単著	2015年7月22日	自由民主党	機関紙『自由民主』7月22日発行号
来るべき『国難』に備えて 第4回『縮災が国を助ける』	単著	2015年7月28日	自由民主党	機関紙『自由民主』7月28日発行号
これまでとこれからの沿岸防災・減災	単著	2015年8月25日	土木学会	水工学に関する夏期研修会講義集, 第51回, B-8-1-18
災害対策の標準化に関する検討の成果と今後の活動	単著	2015年9月1日	日本下水道協会	下水道協会誌, Vol.56.No.635, pp.8-12
大災害への備えと都市・大阪の課題	単著	2015年10月30日	大阪市政調査会	市政研究, Vol.15.No.189, pp.48-57
グローバル化した都市に求められる「縮災」	単著	2015年11月1日	後藤・安田記念東京都市研究所	都市問題, Vol.106, pp.72-79
災害多発時代の防災・減災・縮災	単著	2015年11月1日	一般社団法人 北海道道路管理技術センター	北の交差点, Vol.33, pp.2-9
自然災害に備える——被害を減らすために	単著	2015年11月16日	独立行政法人国民生活センター	ウェブ版「国民生活」2015年11月号
自然災害多発国で命を守る「減災」の知恵	単著	2015年11月16日	独立行政法人 国民生活センター	ウェブ版「国民生活」, No.40, pp.1-5
「自民党に期待する」	単著	2015年12月22日	自由民主党	機関紙『自由民主(新年号)』12月22日発行号
二十二世紀への提言“防災省”を創設して「国難」災害を迎撃する	単著	2015年12月31日	坂の上の雲ミュージアム	「小日本」坂の上の雲ミュージアム通信, pp.3-5
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会・国際集会発表)				
Economic restoration after disasters in developing countries 途上国の被災後の経済復興について	単独	2015年1月16日	International Recovery Platform	IRP 国際復興フォーラム2015 (神戸市中央区ホテルオークラ神戸「平安の間」)
National crisis and disaster resilience	単独	2015年2月10日		21世紀文明シンポジウム (神戸朝日会館)
Mega-disaster resilience for interception of national crisis	単独	2015年3月15日	国土交通省	第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム (宮城県仙台市東北大学萩ホール)
Mega-disaster and environment	単独	2015年3月17日	国立環境研究所	第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム (宮城県仙台市東京エレクトロンホール)
Characteristics of disasters in urban area	単独	2015年3月17日		国連人道支援会議 (宮城県仙台市東北大学)
Discussing the roles of GEOINT For effective tsunami disaster management	単独	2015年9月2日	IQPC	8th Annual Geospatial Intelligence For National Security APAC2015 (シンガポール Amara Sanctuary Resort Sentosa)
Characteristics of disaster occurrence and their resilient strategy in ASEAN countries	単独	2015年10月20日	厚生労働省	The 13th ASEAN and Japan High Level Officials Meeting on Caring Societies (兵庫県神戸市 ANA クラウンプラザ神戸)
Tsunami risk communication in disaster sensitive area in Japan	単独	2015年11月2日	リスボン市議会	International Conference “The Earthquake of 1755-Resilient Lisbon” (ポルトガル, リスボン Banco de Portugal’s Headquarters)
(招待講演)				
国としての危機管理のあり方	単独	2015年1月8日	内閣府事態室	勉強会 (東京都千代田区永田町内閣府別館)
大震災の経験を踏まえた構造物の設計手法の変遷	単独	2015年1月14日	JSCA 関西支部	JSCA 関西支部 阪神・淡路大震災20周年事業基調講演 (大阪市西区売堀建設交流館 8階グリーンホール)

研究業績

南海トラフ巨大地震に伴う最悪被災シナリオ～とくに空港、港湾、鉄道、道路などの社会インフラ～	単独	2015年1月15日	(公財) 関西交通経済研究センター	災害対策シンポジウム (大阪市中央区大手前大阪歴史博物館講堂)
油断大敵 静岡で起こる災害	単独	2015年1月19日	静岡県信栄研究会	平成26年度静岡県信用金庫協会・静岡県信栄研究会合同研修会 (静岡県静岡市葵区静岡グランドホテル中島屋)
震災教訓の継承と自己決定力向上～備えることの大切さ～	単独	2015年1月22日	神戸市	地域防災シンポジウム (神戸市神戸国際会議場メインホール)
南海トラフ沿いの地震による被災地で想定される救急医療問題	単独	2015年1月24日	名古屋市医師会	名古屋市医師会救急講演 (名古屋市医師会館6階講堂)
災害と市民防災	単独	2015年1月25日	地盤工学会関西支部	河内長野市防災講演 (大阪府河内長野市河内長野市立文化ホール)
愛知県とその周辺で心配な災害とBCP	単独	2015年1月30日	(株)ダイフク中部支社	(株)ダイフク社員向けBCPセミナー
命を守り抜くために— 未来のまちづくりを担う子どもたちの育成—	単独	2015年2月1日	高槻市教育委員会	防災シンポジウム (高槻市野見町高槻市現代劇場大ホール)
南海トラフ地震における応急活動計画とその背景	単独	2015年2月2日	香川大学	香川大学工学部第10回先端工学研究発表会 (高知県高松市香川大学工学部3号館)
東京発の国難災害の事前減災計画の策定	単独	2015年2月5日	震災対策技術展事務局	「震災対策技術展」横浜 (神奈川県横浜市パシフィコ横浜)
新時代の企業防災	単独	2015年2月6日	地域企業振興協会	地域企業振興協会第380回講演 (京都市からすま京都ホテル)
津波災害の歴史— 先人の対処法—	単独	2015年2月7日	佛教大学	佛教大学四条センター講座 (京都市下京区佛教大学四条センター)
南海トラフ巨大地震と関西の地震・防災を考える～医療人としての役割	単独	2015年2月7日	大阪府保険医協会	大阪府保険医協会第120回評議員会 (大阪市浪速区大阪府保険協会M&Dホール)
南海トラフ巨大地震と神戸	単独	2015年2月11日	日本損害保険協会近畿支部	県民防災セミナー (神戸市兵庫県私学会館大ホール)
巨大地震に備える防災・減災とは？	単独	2015年2月18日	毎日新聞	公開シンポジウム (大阪市ホテルエルセラーン大阪5F)
滋賀県とその周辺で心配な災害とBCP	単独	2015年2月24日	(株)ダイフク中部支社	(株)ダイフク社員向けBCPセミナー
巨大災害における危機管理について	単独	2015年3月9日	関西電力	建設エネルギー懇話会 (大阪市北区大阪大学中之島センター)
災害の多発・激化時代におけるわが国の防災・減災対策	単独	2015年3月14日	室蘭工業大学	環境科学・防災研究センター10周年記念講演会 (室蘭市宮の森町1丁目蓬萊殿)
巨大災害への備え	単独	2015年3月15日	国交省	全力防災宣言～国土交通省防災展～ (宮城県仙台市青葉区産業プラザ)
巨大災害と環境	単独	2015年3月16日	国立環境研究所	災害環境研究シンポジウム— 東日本大震災の経験に基づく災害環境学の確立 (宮城県仙台市青葉区東京エレクトロン宮城)
災害とコミュニティ	単独	2015年3月17日	仙台市	防災シンポジウム・市民フォーラム (宮城県仙台市青葉区東京エレクトロンホール宮城)
南海トラフ巨大地震とわたしたちの暮らし	単独	2015年3月22日	守口市立中央公民館	環境講座3・11東日本大震災から学ぶ (守口市京阪本通守口市立中央公民館)
想定される南海トラフ地震と事業所への提言	単独	2015年4月10日	大阪府環境経営推進協議会	第4回セミナー (大阪市住之江区南港おおさかATCグリーンエコプラザ)
阪神・淡路大震災と東日本大震災の経験から見る南海地震への備え	単独	2015年4月11日	日本医学会	第29回日本医学会総会 (京都府京都市京都大学百周年時計台記念館)
大阪で心配な大規模災害について	単独	2015年4月14日	関西大学教育後援会	執行部役員会 (大阪府吹田市山手町関西大学校友・父母会館)
南海トラフ大地震の対策研究	単独	2015年5月5日	千里ロータリークラブ	ロータリーフェスティバル (大阪市中央公会堂)
大災害時の大都市圏高速道路の役割	単独	2015年5月20日	阪神高速道路株式会社	第47回技術研究発表会 (大阪市建設交流館グリーンホール)
富山県と高岡市で心配な災害と日常防災	単独	2015年5月29日	高岡市防火管理協議会	高岡市防災講演会 (富山県高岡市ホテルニューオータニ高岡)

新たなステージにおける減災と縮災	単独	2015年6月4日	震災対策技術展	震災対策技術展 in 大阪 (大阪市グランフロント大阪)
～地球温暖化の脅威～「高潮と洪水で水没する大阪中心市街地」	単独	2015年6月4日	NPO 法人 LSO	第196回市民フォーラム (大阪市グランフロント大阪)
地域防災と災害軽減システム 津波災害について	単独	2015年6月5日	JICA 関西	平成27年度 JICA 研修 (兵庫県神戸市 JICA 関西)
いま日本政府がなさねばならない新しい防災体制の構築	単独	2015年6月11日	防犯防災総合展事務局	「防犯防災総合展 in KANSAI2015」 (大阪市インテックス大阪)
「防災総論」「防災総論Ⅱ」	単独	2015年6月13日	博多市	博多あん・あん塾 (福岡県福岡市立中央市民センター)
「都市災害」「津波災害・高潮災害」	単独	2015年6月14日	防災士研修センター	「防災士研修講座」 (大阪市大阪国際交流センター)
高まる巨大災害リスクー必要な対策とは	単独	2015年6月29日	名古屋日経懇話会事務局	名古屋日経懇話会 (名古屋市ヒルトン名古屋)
津波のしくみと被害, 都市防災	単独	2015年7月12日	NTT ラーニングシステムズ(株)	平成27年度防災士研修 (東京都港区役所)
災害多発・激化時代に減災・縮災に寄与するコンサルタント	単独	2015年7月15日	中電技術コンサルタン(株)	50周年記念講演会 (広島県広島市リーガロイヤルホテル広島)
河田恵昭ワールドを訪ねて	単独	2015年7月24日	災害対応研究会	平成27年度災害対応研究会 (大阪市福島区堂島リバーフォーラム 2階)
災害情報を生かす	単独	2015年7月26日	春日井市	平成27年度春日井市安全アカデミー (愛知県春日井市役所)
首都直下型地震の概要, 防災, 減災への対応について	単独	2015年7月31日	一般社団法人関東地域づくり協会	平成27年度関東ブロック「災害復旧事業技術講習会」(東京都港区虎ノ門発明会館)
幼稚園の危機管理	単独	2015年8月4日	関大幼稚園	幼稚園危機管理講習 (吹田市関西大学幼稚園)
危機管理士総論	単独	2015年8月8日	日本危機管理士機構	平成27年度危機管理士2級試験社会リスク編講座 (東京都千代田区神田駿河台明治大学)
これまでとこれからの沿岸防災・減災	単独	2015年8月25日	土木学会	第51回水工学に関する夏期研修会 (神奈川県横浜市保土ヶ谷区横浜国立大学理工学部講義棟)
都市防災・災害と危機管理	単独	2015年8月26日	NTT ラーニングシステムズ株式会社	平成27年度防災士研修 (東京都港区新橋 Learning Square 新橋)
防災 (自治体の危機)	単独	2015年8月27日	広島県自治総合研修センター	平成27年度研修 (広島県広島市中区広島県自治総合研修センター)
都市防災, 津波災害・高潮災害	単独	2015年8月29日	防災士研修センター	防災士研修講座 (滋賀県湖南市中央サンライフ甲西)
災害多発・激化時代の企業の防災戦略	単独	2015年9月1日	三井住友銀行	防災及び事業継続計画(BCP)策定セミナー (大阪市北区大阪大学中之島センター)
岡山県で心配な災害	単独	2015年9月5日	関大校友会岡山支部	総会 (岡山県岡山市ホテルグランヴィア)
阪神淡路大震災から20年 大学の役割・社会貢献	単独	2015年9月6日	大学行政管理学会	平成27年度大学行政管理学会定期総会・研究集会 (関西大学千里山キャンパス)
南海地震に向けた防災戦略	単独	2015年9月8日	鉄道建設・運輸施設整備支援機構	業務研究会特別講演 (大阪市淀川区新大阪トラストタワー 2階会議室)
危機管理・防災政策実務における課題	単独	2015年9月9日	政策研究大学院大学	危機管理・防災実務に関する政策研究シンポジウム (東京都港区六本木政策研究大学院大学1階想海楼ホール)
災害過程から考えた経済活性化と減災・縮災	単独	2015年9月11日	一般社団法人不動産協会	9月定例会 (大阪市西区江戸堀成泉ビルディング住友クラブ)
地下鉄災害について	単独	2015年9月12日	大阪市をよくする会	防災と都市交通を考える市民のつどい (大阪市西区大阪市立西区民センター)
縮災 (Disaster Resilience) と高速道路	単独	2015年9月18日	公益財団法人高速道路調査会	平成27年度高速道路調査会研究発表会 (大阪市北区梅田 AP 大阪駅梅田一丁目 AP ホール)
大阪で心配な自然災害と心構え	単独	2015年9月18日	大手前高校同窓会金蘭会	金蘭会セミナー (大阪市中央区大手前大阪府立大手前高等学校)
公共サービスとしての防災・減災・縮災	単独	2015年9月19日	大阪公共サービス政策センター	日常生活を支える公共サービスの研究会 (大阪市西区朝本町大阪科学技術センター)

研 究 業 績

「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2015年9月19日	防災士研修センター	防災士研修講座（大阪市天王寺区上本町大阪国際交流センター3階銀杏）
都市防災・災害と危機管理	単独	2015年9月28日	NTT-LS 防災士研修事務局	平成27年度防災士研修（大阪府堺市大阪いずみ市民生活協同組合本部2階）
災害多発・激化時代の沿岸防災・減災	単独	2015年9月29日	全国化学労働組合総連合	講演（兵庫県神戸市中央区ポートピアホテル）
国難となる巨大災害に資する縮災対策	単独	2015年9月29日	（一社）日建経中央技術研究所	平成27年度特別講演会（東京都中央区八丁堀東京建設会館）
巨大地震災害にかかる防災・減災の視点	単独	2015年10月5日	全国市有物件災害共済会	平成27年度近畿地区協議会（大阪市中央区安土町ヴィアール大阪）
南海地震と津波に備える	単独	2015年10月8日	兵庫県小学校長会	兵庫県小学校長会研究大会淡路大会（兵庫県洲本市文化体育館）
南海トラフ地震対策	単独	2015年10月10日	兵庫県広域防災センター	平成27年度ひょうご防災リーダー講座（兵庫県三木市志染町兵庫県広域防災センター講堂）
南海トラフ大地震に備えて行政として何をすべきか	単独	2015年10月14日	関西広域連合広域職員研修局	平成27年度政策形成能力研修（兵庫県神戸市中央区兵庫県立大学防災教育センター大教室）
防災とレジリエンス再考	単独	2015年10月22日	土木学会	土木学会トークサロン震災復興フォローアップセミナー（東京都文京区中央大学理工学部5号館5333号室）
新たなステージに入った災害発生と減災・縮災対策	単独	2015年10月23日	兵庫県設備設計事務所協会	近畿地区設備設計事務所協会兵庫交流会（兵庫県神戸市神戸メリケンパークオリエンタルホテル）
アジアを中心とした途上国の防災と課題	単独	2015年10月26日	北野高校	スーパーグローバルハイスクール（SGH）中間発表会公開講座（大阪市淀川区大阪府立北野高等学校）
新たなステージに入った災害環境	単独	2015年10月28日	日本プロジェクト産業協議会	JAPIC 防災委員会（東京都中央区日本橋茅場町鉄鋼会館）
新たなステージに入った災害と減災・縮災対策	単独	2015年11月6日	北海道大学	北海道大学防災シンポジウム（札幌市北区北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟2階鈴木章ホール）
近未来の日本の自然災害ー今、日本列島は、一体どうなっているのか？ー	単独	2015年11月7日	日本臨床スポーツ医学会	第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会（兵庫県神戸市神戸国際会議場3F国際会議室）
南海トラフ巨大地震について	単独	2015年11月5日	西宮夙川ロータリークラブ	防災講演会（兵庫県西宮市西宮神社）
東海・東南海・南海地震に向けた防災・減災戦略	単独	2015年11月17日	畑中労働経済研究所	第23回労働経済トップセミナー（大阪市リーガロイヤルホテルタワーウイング2F桐の間）
被災シナリオに応じた効率的な応急復旧活動のあり方	単独	2015年11月19日	国土交通大学	平成27年度研修（東京都小平市国土交通大学校）
兵庫県の地域防災	単独	2015年11月20日	神戸市自治会連絡協議会	兵庫県連合自治会大会（兵庫県神戸市中央区神戸文化ホール大ホール）
都市防災、津波災害・高潮災害	単独	2015年11月21日	防災士研修センター	防災士研修講座（大阪市天王寺区上本町大阪国際交流センター3階銀杏）
災害発生のおしるしを学び危機管理の手法を身につける	単独	2015年11月22日	奈良県	平成27年度奈良県自主防犯・防災リーダー研修（奈良県奈良市奈良女子大学）
南海トラフ地震に備える	単独	2015年11月24日	九州地域づくり協会	記念講演会（福岡県福岡市博多区ハイアットリージェンシー福岡）
大阪における心配な災害と縮災対策	単独	2015年11月28日	大阪司法書士会西支部	大阪司法書士会西支部防災研修会（大阪市西区西大阪治水事務所研修会議室）
防災・減災に向けた地域での取り組みについて	単独	2015年11月29日	倉敷市	平成27年度防災講演会（岡山県倉敷市くらしき健康福祉プラザ5階プラザホール）
国難への対処と新たなステージに入った災害	単独	2015年11月30日	大阪市環境経営推進協議会	平成27年度第2回セミナー（大阪市阿倍野区あべのルシアスビル12F大阪市環境局第一会議室）
災害に対してどう備えるべきかー高槻生の持つべき心構えー	単独	2015年12月2日	高槻高校	スーパーサイエンスハイスクールセミナー（大阪府高槻市高槻高等学校・中学校小講堂）

日本の防災～阪神・淡路大震災、東日本大震災の経験、教訓を“国難”となる次の災害に活かす～途上国防災に役に立つのか？ 災害のおそろしさ	単独	2015年12月10日	JICA 関西	防災分野勉強会（兵庫県神戸市 JICA 関西国際防災研修センター）
防災体制について	単独	2015年12月10日	神戸市	こうべまちづくり学校 （兵庫県神戸市元町こうべまちづくり会）
大阪を中心とした企業活動の災害対策	単独	2015年12月12日	四日市市	四日市市防災大学 （三重県四日市市本町プラザ1Fホール）
「国難」災害と広域連携	単独	2015年12月15日	（株）オーグス総研	災害対策訓練・全体会議 （大阪市西区 ICC ビル）
	単独	2015年12月16日	愛知県	あいち災害広域連携シンポジウム（愛知県名古屋市中区ウイングあいち大ホール）

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費基盤研究 (S)	代表	2012～2016	31,070 (126,500)	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
科学研究費挑戦的萌芽研究	代表	2014～2016	650 (3,900)	ネット集合知を用いて評価できる定性的災害被害の定量化
科学研究費基盤研究 (B)	分担	2013～2015	2,210 (6,500)	大規模災害時における復旧・復興支援がパナンスの比較研究

以下、フリー記入

(所属学会)

日本災害情報学会（元会長）理事

日本自然災害学会（元会長）評議員

土木学会フェロー

日本学術会議連携委員

アメリカ土木学会（ASCE）会員、アメリカ地球物理学連合（AGU）、国際水理学会（IAHR）会員

(社会貢献活動)

NPO 法人 大規模災害対策研究機構、理事長

NPO 法人 環境防災総合政策研究機構、理事長

NPO 法人 人・家・街 安全支援機構、理事長

土木学会、調査研究部門／原子力土木委員会／J232津波評価部会（fII）委員

土木学会、調査研究部門／構造工学委員会／鉄道工学連絡小委員会／委員

土木学会、企画部門／論説委員会委員

土木学会、調査研究部門／海岸工学委員会相談役

内閣府、中央防災会議専門委員

内閣府、中央防災会議防災対策実行会議委員

内閣府、中央防災会議「防災対策実行会議」防災関連調査研究の戦略的推進ワーキンググループ委員主査

内閣府、産学官連携功労者表彰選考委員

文部科学省、地震調査研究推進本部政策委員会委員

国土交通省、「新たなステージに対応した防災・減災対策」策定に関する有識者懇談会」委員

国土交通省、南海トラフ巨大地震対策計画近畿地方地域対策計画策定連絡会アドバイザー

大阪府、大阪府防災会議委員

三重県、三重県政策アドバイザー

三重県、防災会議防災・減災対策検討会議委員長

和歌山県、和歌山県地震・津波被害想定検討委員会委員長

新潟県、防災立県戦略、顧問

新潟県、震災復興推進アドバイザー

新潟県、新潟県中越大地震復興検証調査会顧問

岡山県、岡山県地震・津波対策専門委員会委員長

岡山県、岡山沿岸海岸保全基本計画（改訂）検討委員会委員

兵庫県、阪神・淡路大震災記念、人と防災未来センター長

兵庫県、ひょうご安全の日推進委員会、委員、企画委員長

兵庫県、兵庫県防災会議地震対策計画専門委員会、副委員長

研 究 業 績

高知県, 石油基地等地震・津波対策検討準備会委員長
高知県, 南海地震対策推進本部アドバイザー
大阪市, 大阪港地震・津波対策連絡会議, アドバイザー
堺市, 堺市防災会議委員
奈良県, 奈良県地域防災計画検討委員会委員長
鳥取県, 鳥取県政アドバイザースタッフ
㈱日本学術振興会平成27年度博士課程教育リーディングプログラム委員会専門委員
国立研究開発機構港湾空港技術研究所, 港湾空港技術研究所評議員会評議員
㈱大学評価・学位授与機構, 国立大学教育研究評価委員会専門委員
東北大学, 災害科学国際研究所外部評価委員会委員
兵庫県立大学, 特任教授
高知工科大学 科学技術委員
関西広域連合, 関西広域の展望研究会委員
関西広域連合防災計画策定委員会「地震・津波及び風水害対策専門部会」委員
近畿圏広域地方計画有識者会議委員
全国知事会地方自治先進政策センター, 頭脳センター専門委員
㈱海洋研究開発機構機関評価会委員
財防災研究協会, 非常勤研究員
財防災研究協会, 業務運営委員
財交流協会, 共同研究事業外部審査委員
財新潟県中越大地震復興基金, 地域復興支援事業（地域貢献型中越復興研究支援）選考評価委員
財沿岸技術研究センター, 近畿地方の港湾における地震・津波対策検討会議委員
財沿岸技術センター, 臨海部広域津波対策ワーキンググループ委員
財沿岸技術センター, 書籍「TSUNAMI」改訂委員会委員
財日本プロジェクト産業協議会, 日本創成委員会／特別委員会（緊急タスクフォース）, 副委員長
（公益）関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団選考委員
（公益）ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部研究会委員

■ 小澤 守

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 企業の社会的責任と消費者の安全——パロマ湯沸器事故とその教訓	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	リスク管理のための社会安全学 第3章, (共著) 安部誠治, pp.47-66
2.5 動燃・JCOにおける原子力事故の概要と自治体の対応	分担執筆	2015年9月	ひょうご震災記念21世紀研究機構	河田恵昭編, 災害対策全書別冊「国難」となる巨大災害に備える, 第2章応急対応, 2 福島第一原子力発電所事故等とその後の問題, pp.270-273
(学術論文) The Influence of the Heating Condition on the Void Fraction in a Boiling Channel	共著	2015		H. Umekawa, S. Nakamura, S. Fujiyoshi, T. Ami, Y. Saito, D. Ito, Physics Procedia, Vol.69, pp.599-606
(その他, 論考・研究資料等) ボイラー技術の史的展開 (6. ボイラー水循環理論の構築 (その2))	単著	2015年2月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.389, pp.34-42
ボイラー技術の史的展開 (6. ボイラー水循環理論の構築 (その3))	単著	2015年4月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.390, pp.26-34
ボイラー技術の史的展開 (6. ボイラー水循環理論の構築 (その4))	単著	2015年6月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.391, pp.28-34
ボイラー技術の史的展開 (7. 船用ボイラー技術の進展 (その1))	単著	2015年1月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.393, pp.34-39
ボイラー技術の史的展開 (7. 船用ボイラー技術の進展 (その2))	単著	2015年12月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.394, pp.24-29
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Effect of the swirl intensity on heat transfer characteristics of a combustion gas from the tubular flame burner,	共著	2015年11月		Jumpei Mido, Ryosuke Matsumoto, Yosuke Shiraga, Yoshinori Hisazumi, Akeshi Kegasa, Tsukasa Hori, Masashi Katsuki, Proc. of the International Conference on Power Engineering-15 (ICOPE-15), Yokohama, Paper No. ICOPE-15-1178
Reflooding of High temperature Tube and Scaling Parameter	単著	2015.1		7 th European-Japanese two-Phase Flow Group Meeting, Zermatt
Influence of Tube Diameter on Critical Heat Flux in Downward Flow	共著	2015年11月		Takeyuki Ami, Takayuki Harada, Hisashi Umekawa, Mamoru Ozawa, 7th European-Japanese two-Phase Flow Group Meeting, Zermatt
(招待講演) 蒸気動力技術の展開と伝熱研究		2015年11月	日本伝熱学会九州支部	平成27年度九州伝熱セミナー, 湯布院部
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費補助金 基盤研究 (C)	代表	2015年~2017年	2,200 (3,800)	高温高熱容量狭隘流路における沸騰流動ダイナミクス

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 日本機械学会（フェロー）、米国機械学会、日本伝熱学会、火力原子力発電技術協会、日本混相流学会、日本工学アカデミー 各正会員
(社会貢献活動) 日本伝熱学会会長（2015.6-2016.5） もんじゅ安全・改革検証委員会委員 もんじゅ安全安全委員会委員長代理 日本電気制御機器工業会（NECA）SBA-Ex（Safety Basic Assessor 防爆部門）認証委員会委員
(その他業績として記載を希望する事項) 2015.3 日本機械学会 関西支部賞（研究賞） 2015.4 日本機械学会 名誉員

■ 安部 誠治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 안전신화의 붕괴 (후쿠시마 원전사고는 왜 일어났나) 踏切事故はなぜなくなるらないか	共著 編著	2015年3月 2015年6月	미세음 高文研	『福島原発事故はなぜ起こったか』講談社、2013年4月の韓国語翻訳版
(学術論文) ヒューマンエラーに起因する鉄道事故の防止に関する一考察 企業の社会的責任と消費者の安全——パロマ湯沸器事故とその教訓—— 北陸トンネル列車火災事故とその教訓	共著 共著 共著	2015年3月 2015年3月 2015年12月	公益事業学会 ミネルヴァ書房 鉄道史学会	吉田裕・安部誠治『公益事業研究』第66巻第3号、1-10頁(査読有) 小澤守・安部誠治、関西大学社会安全学部編『リスク管理のための社会安全学』47-66頁 吉田裕・安部誠治『鉄道史学』第33号、17-35頁(査読有)。
(その他、論考・研究資料等) インタビュー「活性化に不可欠な自治体との連携強化」 シンガポールのタクシー事情 マンスライエッセイ「タクシー閑話 世界のタクシー」 マンスライエッセイ「福知山線事故10周年と鉄道の安全」 マンスライエッセイ「仙台の地域協議会を終えて」 JR 福知山線事故10年 罰則や労働条件改善に課題 マンスライエッセイ「人間の判断・意思決定を考える」 インタビュー「安部関大教授がタクの今後のあり方にメス」 マンスライエッセイ「踏切事故対策の新たな課題」 マンスライエッセイ「新幹線の放火事件」 動き始めた我が国の事故調査制度——課題と展望—— 韓国・タクシー発展法全訳 マンスライエッセイ「韓国のタクシー発展法」 原子力の安全と災害対応に関する法と制度 原子力災害対策と地方自治体 政府と東京電力の緊急時対応 福島原発事故は何故起こったのか 複合災害と新幹線、空港、コンビニート巨事故等 マンスライエッセイ「東京のタクシーは世界一？」 事故防止 啓発にも力を 鼎談 安全・安心社会とエネルギーを考える リスクの制御は現代社会の最重要課題	単著 単著 単著 単著 単著 単著 単著 単著 単著 単著 単著 共著 単著 単著 単著 単著 共著 単著 単著 単著 共著 単著	2015年1月 2015年1月 2015年2月 2015年3月 2015年4月 2015年4月 2015年5月4日 2015年5月 2015年6月 2015年7月 2015年8月 2015年8月 2015年9月 2015年9月 2015年9月 2015年9月 2015年9月 2015年9月 2015年9月 2015年10月21日 2015年11月20日 2015年11月 2015年12月	交通界 大阪タクシー交通共済協同組合 トラボルト トラボルト トラボルト 日刊工業新聞社 トラボルト 都市交通研究会 トラボルト トラボルト 日本安全学教育研究会 トラボルト トラボルト 同上 同上 同上 同上 トラボルト 新潟日報社 関西電力株式会社 西日本旅客鉄道株式会社	『交通界21』 新年特別号、71-76頁。 『30年のあゆみ』 50-51頁。 『traport』 第322号、7頁。 『traport』 第324号、7頁。 『traport』 第329号、7頁。 『日刊工業新聞』 4月24日、31面。 『traport』 第331号、11頁。 『ザ・タクシー』 5月25日号、1～2面。 『traport』 第333号、7頁。 『traport』 第337号、7頁。 『日本安全学教育研究会誌』 Vol.8、13-15頁。 『traport』 第340号、6-7頁。安部誠治・李容相。 『traport』 第342号、7頁。 『「国難」となる巨大災害に備える～東日本大震災から得た教訓と知見～』(災害対策全書別冊) ぎょうせい、76-79頁。 同上、168-169頁。 同上、244-247頁。 同上、260-263頁。 同上、542-545頁。室崎益輝・安部誠治。 『traport』 第345号、7頁。 『新潟日報』 11月20日付、32面 『躍』 第25号、2015年11月、2-17頁、安部誠治・宇根崎博信・小幡績。 『JR WEST』 Vol.343、2015年12月号、4頁。

研 究 業 績

事故が起きるまで続いた「独特の労務管理」	単著	2015年12月11日	日経BP社	日経BP Safety2.0プロジェクト, 5-6頁.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会招聘講演) 動き始めた我が国の事故調査制度——課題と展望——	単独	2015年 8月23日	日本安全学教育研究会	第10回大会, 於・東北大学
事故の再発防止と我が国における事故調査の課題	単独	2015年12月11日	日本機械学会主催, 電気学会・土木学会 共催	第22回 鉄道技術連合シンポジウム J-Rail 2015, 於・東京大学
(学会発表) 福知山線事故とJR西日本の課題	単独	2015年 7月 3日	日本交通学会	関西部会例会, 於・中央電気倶楽部
交通権は何故, 日本社会に部分的にしか受容されなかったのか—交通権を考える会から交通政策基本法まで—	単独	2015年 7月19日	交通権学会	2015年度大会, 於・早稲田大学
(講演) 基調講演 鉄道の安全——福知山線事故10年と新たな課題	単独	2015年 4月25日	追悼と安全のつどい 2015年実行委員会	於・あましんアルカイックホール
基調講演 人口減・災害多発時代の運輸安全の課題と展望	単独	2015年12月 7日	国土交通省	運輸事業の安全に関するシンポジウム 2015 於・メルパルク大阪
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下, フリー記入				
(所属学会) 公益事業学会 (理事), 交通権学会 (理事), 日本交通学会, 日本リスクマネジメント学会, 鉄道史学会, 日本安全学教育研究会				
(社会貢献活動) 運輸安全委員会業務改善有識者会議座長 (継続) 事業用自動車事故調査委員会委員 (継続) 国土交通省・運輸安全政策研究会委員 (継続) 大阪府タクシー準特定地域合同協議会会長 (継続) 仙台市タクシー事業適正化・活性化協議会会長 (継続) 大阪タクシーセンター評議員 (2015年 7月まで) 近畿運輸局 トラック輸送における取引環境・労働時間改善大阪地方協議会座長 (新規) 原子力安全推進協会・原子力防災訓練検討委員会委員 (継続) 関西電力・原子力安全検証委員会委員 (継続) 河内長野市国民保護協議会委員 (継続)				

■ 辛 島 恵美子

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 死をめぐる対応分類（安全学）から見えてくる原発震災の課題	単著	2015年11月	科学技術社会論学会	第14回年次研究大会講演集2015, pp 136-137
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 死をめぐる対応分類（安全学）から見えてくる原発震災の課題	単独	2015年11月	科学技術社会論学会	第14回年次研究大会（東北大学川内南キャンパス）
(招待講演) 防火対策を考える：命を守る三タイプの対策 医療と医薬品と安全 第10回 医療と医薬品と安全	単独 単独 単独	2015年2月6日 2015年6月4日 2015年6月18日	吹田市消防本部・吹田市防火連合会主催 「震災対策技術展」大阪実行委員会 関西大学社会安全学部連続セミナー	吹田市防火講演会（吹田市立内本町コミュニティセンター） 震災対策技術展（コングレコンベンションセンター：グランフロント大阪） 安全・安心な社会を創り出すための社会安全学（関西大学東京センター）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本鉄鋼協会 科学技術社会論学会 日本材料学会 日本安全教育学会 応用哲学会				
(社会貢献活動) 財団法人 生存科学研究所 評議員 NPO法人 安全学研究所 理事 和歌山県防災会議委員				

研 究 業 績

■ 亀 井 克 之

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Entrepreneurship education in Japanese universities - How do we train for risk taking in a culture of risk adverseness?	分担執筆・共著	2015年	SAGE	Edited by Leo Paul Dana, <i>Asian Entrepreneurship</i> , VolumeII, Human capital and related issues, 3. Education, 23, 2015, pp.107-126.
Examining the impact of new policy facilitating SME succession in Japan	分担執筆・共著	2015年	SAGE	Edited by Leo Paul Dana, <i>Asian Entrepreneurship</i> , VolumeIII, External support, 6. Government policy and assistance, 50, 2015, pp.295-306.
不祥事・トラブルを未然に防ぐリスク管理能力を磨く	分担執筆・共著	2015年	マルコ社	(監修)マルコ社編『成功者は、だから努力をせずにセンスを磨く』第1章・第5節, pp.107-129.
(学術論文) フランス企業の経営戦略とリスクマネジメント — その後の展開	単著	2015年3月	公益財団法人 日仏会館	『日仏文化』第84号、渋沢・クローデル賞30周年記念号、第一部 渋沢・クローデル賞30周年記念論集 現代におけるフランス的知性の役割、日本側受賞者論考、経済, pp.110-113. (査読なし)
La santé du dirigeants des petites et moyennes entreprises -Conférence du premier congrès international AMAROK à Kyoto le 14 novembre 2014-	共著	2015年5月	Société Franco-Japonaise de Gestion	<i>Bulletin de la Société Franco-Japonaise de Gestion</i> , No.32, mai 2015, pp.60-68. (査読なし)
(その他、論考・研究資料等) まえがき・危機突破とリスクマネジメント	単著	2015年3月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第46号 (RM 双書第34集)、危機突破とリスクマネジメント, pp.I-IV.
フランス語圏国際中小企業学会と経営者の健康シンポジウム	単著	2015年5月	ソーシャル・リスクマネジメント学会	『実践危機管理』第30号, pp.64-69.
「海外リスク情報」データベースを用いた感性錬磨型学習の試み	単著	2015年8月	公益社団法人 私立大学情報教育協会	公益社団法人 私立大学情報教育協会・ICT利用教育改善発表会運営委員会『平成27年度 ICT利用による教育改善発表会資料集』pp.102-103
リスクマネジメント理論100年に寄せて	単著	2015年10月	中央経済社	『旬刊 経理情報』No.1427, 2015年10月20日号, 巻頭言, p.1.
リスクマネジメントの基本的な考え方	単著	2015年10月	建設コンサルタンツ協会近畿支部	建設コンサルタンツ協会近畿支部・技術委員会BCP班『建設コンサルタンツの事業継続計画 (BCP)』pp.102-113.
La réforme de la fiscalité concernant la transmission des PME au Japon (日本における中小企業の事業承継税制改革)	単著	2015年11月	Sénat, France	Document pour la Division de Législation comparée, Sénat, France (フランス上院・法制比較委員会への報告書) (査読あり)
(その他、エッセー) 中小企業経営者を応援するオリビエ・トレス教授との交流 — フランス語圏国際中小企業学会 (モロッコ) と経営者の健康シンポジウム (京都) —	単著	2015年1月	株式会社扶洋 NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.70/2015新年号 (『太陽と健康の文化 [南仏閑話] 第17回), pp.19-20.
オーベルニュ地方・ティエールのはさみ — 小学生を描いた映画『トリュフォーの思春期』(1976年)の舞台となった刃物の街 —	単著	2015年4月	株式会社扶洋 NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.71/2015春号 (『太陽と健康の文化 [南仏閑話] 第18回), pp.15-16.
学校の休みとバカンス — ガソリンに注意: 初めてのバカンスの苦い体験 —	単著	2015年7月	株式会社扶洋 NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.72/2015夏号 (『太陽と健康の文化 [南仏閑話] 第19回), pp.15-16.
「フランスの最も美しい村」とは — 南仏が誇る美しい村々 —	単著	2015年10月	株式会社扶洋 NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.73/2015秋号 (『太陽と健康の文化 [南仏閑話] 第20回), pp.19-20.

(その他、関西大学広報誌)				
ほうさい甲子園でKUMC表彰	単著	2015年3月	関西大学広報委員会	『関西大学通信 Kandai Style』Vol.439, p.11.
成績優秀者を表彰	単著	2015年7月	関西大学広報委員会	『関西大学通信 Kandai Style』Vol.443, p.14.
子どもたちの防災意識を育てる取り組みで「ほうさい甲子園」入賞!	単著	2015年6月	関西大学	『関西大学 大学案内2016』p.17.
課外活動団体の活躍	単著	2015年6月	関西大学	『関西大学 大学案内2016』p.111.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
音楽ライブ・ビジネスにおけるリスクマネジメントと保険——2014年以降の事例を中心に——	単独	2015年10月24日	日本保険学会	平成27年度日本保険学会全国大会・学会創立75周年記念大会、慶應義塾大学 三田キャンパス
(研究報告)				
東日本大震災がグローバル企業の経営戦略に及ぼした影響	単独	2015年8月5日	関西大学社会安全学部	社会安全セミナー、関西大学 高槻ミュージックキャンパス
「海外リスク情報」データベースを用いた感性錬磨型学習の試み	単独	2015年8月7日	公益社団法人 私立大学情報教育協会	平成27年度 ICT利用による教育改善研究発表会、東京理科大学 森戸記念館
(国際シンポジウム・実行委員長)				
リジコポリティクの100年——リスク・パラドクス——(100 years of Risikopolitik-Risk Paradox-)	共同	2015年9月17日・18日	ドイツ日本研究所・日本リスクマネジメント学会	日本側実行委員長、ドイツ日本研究所・日本リスクマネジメント学会共同シンポジウム(日本リスクマネジメント学会第39回全国大会)、ドイツ日本研究所
(招待講演)				
リスクマネジメントの展開と組織	単独	2015年1月22日	経営マネジメントビジネススクール	大阪工業協会
リスクマネジメント① 経営リスクマネジメントについて——リスクマネジメントと危機管理について学び、危機対応の適切な意思決定につなげる。	単独	2015年9月4日	四天王寺福祉事業団	役員研修、社会福祉法人 四天王寺福祉事業団
リスクマネジメント②「ジレンマ」「選択・決断」	単独	2015年10月9日	四天王寺福祉事業団	役員研修、社会福祉法人 四天王寺福祉事業団
リスクマネジメント③「ジレンマ」「選択・決断」と「メンタルヘルス」	単独	2015年11月27日	四天王寺福祉事業団	役員研修、社会福祉法人 四天王寺福祉事業団
リスクマネジメントの基本的な考え方	単独	2015年9月11日	神奈川県公立文化施設協議会	神奈川県公立文化施設協議会主催研修会、神奈川県民ホール
危機管理の考え方と事例	単独	2015年10月16日	建設コンサルタンツ協会近畿支部	建設コンサルタンツ協会近畿支部主催建設コンサルタント企業の事業継続計画(BCP)講習会、大阪科学技術センタービル
リスクマネジメントの基本的な考え方	単独	2015年12月10日	公益財団法人 川崎市文化財団	公益財団法人・川崎市文化財団主催研修会、ミューザ川崎シンフォニーホール
(高大連携事業 等)				
関西大学学生団体KUMCによる防災授業について	共同	2015年5月1日	吹田市教育委員会	吹田市校長会、吹田市民会館
東北の被災地について	共同	2015年7月14日	大阪府立市岡高等学校	防災授業実施協力、大阪府立市岡高等学校
社会安全学とは何だろうか?——防災ゲームで学習しよう——	単独	2015年7月24日	大阪中学生サマー・セミナー	関西大学 高槻ミュージックキャンパス
危機管理とリーダーシップ	単独	2015年7月30日	関西大学高大連携事業 Kan-Dai セミナー	兵庫県 滝川高等学校
防災カードゲーム「クロスロード」～学部 の学びを体験しよう～	単独	2015年8月1日	関西大学	ミニ講義、関西大学サマーキャンパス、 関西大学千里山キャンパス
クロスロードを体験しよう	単独	2015年8月22日	関西大学	体験イベント、関西大学サマーキャンパス、 関西大学高槻ミュージックキャンパス
危機管理とリーダーシップ	単独	2015年10月1日	大阪府立市岡高等学校	防災行事における講演、大阪府立市岡高等学校

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 課題番号:24530436	研究代表者	2012～2017年	800 (5,000)	中小企業の事業承継に関する日仏共同研究を通じた事業承継リスクマネジメントの提案
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本リスクマネジメント学会 理事長				
日仏経営学会 常任理事				
ファミリービジネス学会 理事				
ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事				
事業承継学会				
日本経営学会				
日本商品学会				
日本中小企業学会				
日本保険学会				
情報経営学会				
リスク研究学会				
スポーツ社会学会				
AIREPME (Association Internationale de Recherche en Entrepreneuriat et PME) 副会長				
(社会貢献活動)				
日本経済学会連合 評議員				
経営関連学会連絡協議会 委員				
モンペリエ大学・経営学部・企業家活動研究所 Labex Entreprendre, 学術委員会委員 Université Montpellier, Laboratoire d'Excellence Entreprendre (Labex Entreprendre), membre de comité scientifique				
フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長				
関西大学経済・政治研究所, スポーツ・健康と地域社会研究班, 主幹				
関西大学経済・政治研究所 外国人招へい研究者 フロランス・ギリアニ (フランス・モンペリエ大学経営学部研究員) 受入れ担当責任者 (2015年11月3日～13日)				
協力: 老朽化したブロック塀代替工法スーパーフェンス (港製器工業株式会社) 展示協力, 関西大学防災DAY, 関西大学千里山キャンパス, 2015年11月13日				
関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問				
関西大学 体育会 準硬式野球部 顧問 (2015年3月末まで)				
関西大学 大学教員組合 委員長 (2015年4月末まで)				
通訳案内士・フランス語 (1996年合格・大阪府免許登録1139号)				
通訳案内士・英語 (2011年合格・関西広域連合免許登録申請中)				
(非常勤講師)				
九州大学 ビジネススクール「経営リスクマネジメント」担当				
大阪医科大学 看護学部「くらしと安全・危機管理」担当				
(その他業績として記載を希望する事項)				
(記事作成協力)「日本リスクマネジメント学会第39回全国大会 DIJ と共同シンポジウム」, 保険毎日新聞, 2015年10月13日				
(コメント)「農相辞任の西川氏 退任会見開かず波紋」『河北新報』2015年3月7日 http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201503/20150307_71052.html				
(コメント)北野智子「高槻シティハーフマラソン開催 学生・教授ら参加」『関大タイムズ』2015年1月28日 http://www.unn-news.com/ku-times/2015/01/28/0329/				
(作成協力)『たかつきの防災教育—子どもの命を守り抜くために—小中学生用防災教育の手引き』高槻市教育委員会, 2015年3月, 86p.				
(編集責任者)『2014年度 活動報告書』関西大学大学教員組合, 2015年9月, 100p.				
(作成協力)『建設コンサルタントの事業継続計画 (BCP)』一般社団法人・建設コンサルタンツ協会・近畿支部, 技術委員会BCP班, 2015年10月, 117p.				
(学生指導)「地震で倒壊する危険性のある老朽化したブロック塀を間伐材と地場木材を活用した木の塀「スーパーフェンス」で代替するプロジェクト」大学コンソーシアム大阪主催「地域連携学生フォーラム2015」2015年10月18日, 難波御堂筋ホール				
(広報協力)市民マラソン大会を活用した港製器工業株式会社の防災商品のPR (2015年1月18日・高槻シティハーフマラソン, 2月1日・香川丸亀国際ハーフマラソン, 3月21日・淀川国際ハーフマラソン)				

(作成協力)「1月22日 災害時に迫られる様々な判断を疑似体験!磐手小学校で防災授業」高槻市ホームページ 2015年1月22日 http://www.city.takatsuki.osaka.jp/kakuka/sougou/eigyouko/gyomuannai/machipphoto/h27/h27_1/150122.html

(作成協力)「5月25日 奥坂小学校の児童らが関西大学の安全ミュージアムを見学」高槻市ホームページ 2015年5月25日 http://www.city.takatsuki.osaka.jp/kakuka/sougou/eigyouko/gyomuannai/machipphoto/h27/h27_5/150525.html

(高槻市教育委員会・防災教育事業協力)2015年1月22日, 社会安全学部「経営学概論」受講者33名と2014年度高槻市防災教育研究委嘱校・高槻市立磐手小学校を訪問し 大学生と小学生による「クロスロード」合同演習

(高槻市教育委員会・防災教育事業協力)2015年5月25日, 高槻市立奥坂小学校2年生76人が高槻ミュージックキャンパスを訪問し社会安全学部「基礎演習(2クラス)」による施設案内と防災教育の合同演習

(高槻市教育委員会・防災教育事業協力)2015年9月8日, 高槻市立奥坂小学校5年生90人が高槻ミュージックキャンパスを訪問し亀井ゼミ生による施設案内と「クロスロード」合同演習

第5回大阪マラソン チャリティ・ランナー, 特定非営利活動法人 がんサポートコミュニティーへのチャリティ, 2015年10月25日

(取材協力)英国BBC キム・ギトルソン記者による老舗企業インタビュー取材(2015年7月9日・西宮・辰馬酒造, 7月10日・大和郡山市・本家菊屋, 7月13日・京都・堀金箔粉, 7月24日・伏見・月桂冠)

研 究 業 績

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) リスク管理のための社会安全学	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編、第6章「安全・迅速な出口退出のシミュレーション」を担当。
(学術論文) 群集の圧力と密度に関する数値実験	単著	2015年12月	交通流数理研究会	第21回交通流と自己駆動粒子系のシンポジウム論文集（査読有）
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2013～2015年	700 (3,800)	群集事故解析のための粒子モデルシミュレーション手法の開発とその検証
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 粉体工学会 日本混相流学会 可視化情報学会 日本災害情報学会 交通工学研究会 日本建築学会				

■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) わかりやすい 公衆衛生学 第4版	分担	2015年12月	ヌーヴェルヒロカワ	清水忠彦・佐藤拓代編集, わかりやすい 公衆衛生学, 第10章 学校保健, 167-184.
(学術論文) 釜ヶ崎における高齢者特別清掃事業就労者 及びシェルター利用者を対象とした結核に 関する聞き取り調査の報告	共著	2015年1月	日本社会医学会	社会医学研究, Vol.32, No.1, 31-39.
(その他、論考・研究資料等) イングランドの公衆衛生のアイデンティティ とリーダーシップ	単著	2015年1月	医学書院	公衆衛生, Vol.79, No.1, 36-45.
グローバル時代における感染症の動向と対 策の課題	単著	2015年4月	大阪府保険医協会	大阪保険医雑誌, No.583, 13-16.
保健師活動の基礎 公衆衛生とは何か	単著	2015年12月	全国保健師活動研究 会	第47回全国保健師活動研究会報告書, 111-113.
改正感染症法と感染症対策	単著	2015年12月	全国保健師活動研究 会	第47回全国保健師活動研究会報告書, 198-200.
血液成分製剤でのE型肝炎ウイルス:イン グランド南東部での陽性率および感染に関 する研究 Hepatitis E virus in blood components: a prevalence and transmission study in southeast England Lancet. 2014 Nov 15; 384(9956):1766-73. doi:10.1016/S0140- 6736(14)61034-5. Epub 2014 Jul 28.	翻訳監修	2015年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/ bunken/2015/bunken_01ta.html
プライマリ・ケアで認められるパーキンソ ン病の診断前の症状: ケースコントロール 研究 Prediagnostic presentations of Parkinson' s disease in primary care: a case-control study Lancet Neurol. 2015 Jan;14(1): 57-64. doi:10.1016/S1474-4422(14) 70287-X.	翻訳監修	2015年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/ bunken/2015/bunken_02ta.html
腸管切除後のクローン病の再発予防: 無作 為化試験 Crohn's disease management after intestinal resection: a randomised trial Lancet. 2014 Dec 23. pii:S0140-6736(14) 61908-5. doi:10.1016/S0140-6736(14) 61908-5. [Epub ahead of print]	翻訳監修	2015年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/ bunken/2015/bunken_03ta.html
環境リスク因子と多発性硬化症: システマ ティックレビューおよびメタ解析の包括的 レビュー Environmental risk factors and multiple sclerosis: an umbrella review of systematic reviews and meta-analyses Lancet Neurol. 2015 Mar;14(3):263-73. doi:10.1016/S1474-4422(14)70267-4. Epub 2015 Feb 4.	翻訳監修	2015年4月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/ bunken/2015/bunken_04ta.html

研 究 業 績

<p>関節リウマチ患者における腫瘍壊死因子阻害薬と既存抗リウマチ薬併用療法の比較：TACIT 非劣性無作為化対照試験 Tumour necrosis factor inhibitors versus combination intensive therapy with conventional disease modifying anti-rheumatic drugs in established rheumatoid arthritis: TACIT non-inferiority randomised controlled trial BMJ. 2015 Mar 13;350:h1046. doi: 10.1136/bmj.h1046.</p>	翻訳監修	2015年5月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2015/bunken_05ta.html
<p>関節リウマチ患者に対するアダリムマブまたはエタネルセプトの投与の活動性推移をみでの減量・使用中止群と治療継続群との比較：非盲検無作為化対照非劣性研究 Disease activity guided dose reduction and withdrawal of adalimumab or etanercept compared with usual care in rheumatoid arthritis: open label, randomised controlled, non-inferiority trial BMJ. 2015 Apr 9;350:h1389. doi: 10.1136/bmj.h1389.</p>	翻訳監修	2015年6月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2015/bunken_06ta.html
<p>慢性閉塞性肺疾患での死亡率の予測に関する病期分類法 GOLD2007と GOLD2011の比較：各患者データのプール解析 Mortality prediction in chronic obstructive pulmonary disease comparing the GOLD 2007 and 2011 staging systems: a pooled analysis of individual patient data Lancet Respir Med. 2015 May 15. pii:S2213-2600(15)00157-5. doi: 10.1016/S2213-2600(15)00157-5. [Epub ahead of print].</p>	翻訳監修	2015年7月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2015/bunken_07ta.html
<p>カンナビノイドの医学的使用：システムティックレビューおよびメタ解析 Cannabinoids for Medical Use: A Systematic Review and Meta-analysis JAMA. 2015 Jun 23-30;313(24):2456-73. doi:10.1001/jama.2015.6358.</p>	翻訳監修	2015年8月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2015/bunken_08ta.html
<p>炎症性腸疾患患者における腫瘍壊死因子α阻害薬と重篤感染との関連：デンマークでの全国的コホート研究 Association between tumour necrosis factor-α inhibitors and risk of serious infections in people with inflammatory bowel disease: nationwide Danish cohort study BMJ. 2015 Jun 5;350:h2809. doi: 10.1136/bmj.h2809.</p>	翻訳監修	2015年9月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2015/bunken_09ta.html
<p>血中 CC16濃度と肺機能および慢性閉塞性肺疾患の発症との関連：前向き研究 Relation between circulating CC16 concentrations, lung function, and development of chronic obstructive pulmonary disease across the lifespan: a prospective study Lancet Respir Med. 2015 Aug;3(8):613-20. doi:10.1016/S2213-2600(15)00196-4. Epub 2015 Jul 6.</p>	翻訳監修	2015年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2015/bunken_10ta.html
<p>臨床・遺伝情報に基づく分類によるパーキンソン病の予知診断：地域人口集団による予知モデル検証 Diagnosis of Parkinson's disease on the basis of clinical and genetic classification: a population-based modelling study Lancet Neurol. 2015 Oct;14(10):1002-9. doi:10.1016/S1474-4422(15)00178-7. Epub 2015 Aug 10</p>	翻訳監修	2015年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2015/bunken_11ta.html

社会安全学研究 第6号

慢性疾患を併存する高齢者におけるガイドライン推奨薬と死亡との関連の検討：地域ベースのコホート研究 Association between guideline recommended drugs and death in older adults with multiple chronic conditions: population based cohort study BMJ. 2015 Oct 2;351:h4984. doi:10.1136/bmj.h4984.	翻訳監修	2015年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2015/bunken_12ta.html
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 先進国の中で唯一の結核問題を解決できないロンドンの苦悩 英国の「Public Health」と日本の「公衆衛生」の社会医学的考察 大阪府内の診療所長の在宅医療と他職種連携状況 教職員への心身の健康づくり支援事業-管理職からみた教職員の心身の健康課題 大阪府内の診療所長の在宅医療と他職種連携状況	単独 単独 共同 共同 共同	2015年3月27日 2015年7月25日 2015年11月5日 2015年11月5日 2015年11月8日	日本結核病学会 日本社会医学会 日本公衆衛生学会 日本公衆衛生学会 大阪府医師会	第90回日本結核病学会総会（長崎市） 第56回日本社会医学会総会（久留米市） 第74回日本公衆衛生学会総会（長崎市） 第74回日本公衆衛生学会総会（長崎市） 大阪府医学会総会、大阪府医師会館（大阪市）
(招待講演) 健康格差と公衆衛生政策 保健師教育の課題と展望 公衆衛生と感染症対策 食品流通の国際化と食品安全システムの現状と課題 看護政策論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ グローバル感染症に備えた公衆衛生体制の課題 地域保健と健康危機管理の歩みとその対策 国際健康政策学①～⑮	単独 単独 単独 単独 単独 単独	2015年2月27日 2015年3月7日 2015年3月15日 2015年5月30日 2015年6月27日 2015年12月16日 2015年12月12日、19日、26日	全国保健師教育協議会中国・四国ブロック 公衆衛生全国研究集会 一般社団法人・日本食品安全協会、健康食品管理士会・近畿支部 関西看護医療大学大学院 保健所・公衆衛生を考える全国研究交流会集会実行委員会 兵庫県議会健康福祉常任委員会 大阪大学大学院医学系研究科医学修士課程	平成27年2月27日（岡山市）全国保健師教育協議会中国・四国ブロック研究会 第16回公衆衛生全国交流集会（倉敷市） 一般社団法人・日本食品安全協会、関西大学・社会安全学部、健康食品管理士会・近畿支部 食の安全と健康に関する公開講座（高槻市） 関西看護医療大学、兵庫県あわじ市 第17回保健所・公衆衛生を考える全国研究交流会集会（東京、品川区） 兵庫県議会議会運営委員会（神戸市） 大阪大学中之島センター（大阪市）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 基盤研究 (A)	分担	2015～2017	650 (1800)	食品安全のためのリスクコミュニケーションモデルの開発とプロフェッションの要件
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公衆衛生学会・評議員 日本結核病学会・評議員 日本社会医学会・副理事長				

研 究 業 績

(社会貢献活動)

大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師
関西看護大学・非常勤講師
大阪府医師会調査委員会・委員
健康おおさか21推進府民会議・委員長
健康おおさか21推進府民会議予防対策検討部会・委員長
大阪府健康づくりアワード審査委員会・委員
大阪府教育委員会事務局・学校保健技師
大阪府結核対策審議会・委員
大阪市結核対策評価委員会・委員
大阪府立学校職員健康審査会・常任委員
大阪府立学校結核対策審議会・委員
東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員
豊中市民病院運営審議会・会長
高槻市地域包括ケア推進会議委員長
高槻市保健医療審議会・委員
高槻市感染症診査協議会・委員
枚方市健康増進計画審議会・会長
堺市健康増進計画懇話会・委員
伊丹市福祉対策審議会・委員
伊丹市保健医療推進協議会健康づくり部会・部会長
公益法人大阪公衆衛生協会・専務理事
公益法人大阪公衆衛生協会・保健計画部会・会長
ストップ結核パートナーシップ日本・理事
医学書院 雑誌「公衆衛生」・編集委員

■ 高野 一彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) リスク管理のための社会安全学	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編。私は第2章「情報危機管理とビッグデータ——わが国の個人情報保護法制への提言と企業コンプライアンス——」(21~46頁)を担当。
三方よしに学ぶ人に好かれる会社	分担執筆	2015年3月	サンライズ出版	田中宏司・水尾順一編著。私は第2章「お客様の喜びが原点」(43~54頁)を担当。
(論考・研究資料等) 情報漏えいとリスク管理——情報法の国際的動向とコンプライアンス——	単著	2015年1月	経営倫理実践研究センター	経営倫理 第77号、6-8頁。
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 個人情報保護法制における利活用とプライバシー保護の課題——民間企業のコンプライアンスの視点から——	単独	2015年6月15日	京都大学防災研究所	第9回都市防災研究協議会(政策)(於、京都大学 東京オフィス)
番号法の立法過程におけるプライバシー保護の制度とその背景	単独	2015年6月5日	経営倫理実践研究センター	第19回BERC時局セミナー「行政手続番号法(マイナンバー法)の企業での対応」(於、海事センター)
ビッグデータビジネスとデータ保護の国際的整合	単独	2015年3月28日	日本経営倫理学会	第7回経営倫理シンポジウム「ビッグデータ時代の経営倫理」(於 慶應義塾大学) ※パネリストとして研究成果報告
(招待講演) 新時代のデータ・コンプライアンス——改正個人情報保護法・マイナンバー法を中心として——	単独	2015年11月30日	株式会社大塚製薬工場	大塚製薬工場「第9回なんとエシックスフォーラム」(於、大塚製薬工場本社)
改正個人情報保護法、マイナンバー法と情報保護の実務対応	単独	2015年11月18日	大阪ガス株式会社	大阪ガスグループ「2015年度 秋の推進責任者・担当者研修」(於、大阪ガス本社)
上場企業に求められるコンプライアンス—情報に関するリスクを中心として—	単独	2015年11月4・9日	日本貨物鉄道株式会社	日本貨物鉄道グループ「役員・経営幹部コンプライアンス研修」(於、日本貨物鉄道本社)
企業を取り巻く法の変化と情報コンプライアンス	単独	2015年10月23日	東京瓦斯株式会社	東京瓦斯グループ「コンプライアンス研修」(於、東京瓦斯本社)
インターネット社会における企業のコンプライアンス——情報管理のグローバル・ダイナミズム——	単独	2015年10月5, 6, 7, 13, 26日	中国電力株式会社	中国電力グループ「各県別コンプライアンス研修」(於、中国電力岡山支社、とりぎん文化会館(鳥取)、鳥根県民会館、YIC(山口)、及び中国電力本社)
パーソナルデータの利活用・保護に関する企業の対応——改正個人情報保護法案・マイナンバー法を中心として——	単独	2015年8月3日	ローソン株式会社	ローソングループ役員コンプライアンス研修(於、ローソン本社)
新時代の情報法コンプライアンス	単独	2015年7月9日	アクサ生命保険株式会社	AY2015リスクマネジメント研修(於、TKP ガーデンシティ品川)
インターネット社会における企業のコンプライアンス——情報管理のグローバルダイナミズム——	単独	2015年7月6日	中国電力株式会社	中国電力グループ「役員・経営幹部コンプライアンス研修」(於、中国電力本社)
個人情報保護の将来像とコンプライアンス	単独	2015年4月13日	公益財団法人 福武財団	福武財団「個人情報保護レクチャー」(於、ベネッセハウス・パークホール)
ステークホルダーの期待に応えるCSRのあり方	単独	2015年3月26日	日本フィランソロピー協会	第14回フィランソロピー・セミナー in 関西(於、積水ハウス株式会社本社会議室)

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) 関西大学教育研究高度化促進費	代表 代表	平成23～27年度 平成26～27年度	500 (4,100) 1,451 (2,616)	「情報法制と企業のコンプライアンスに関する比較研究」 「わが国の新たな情報法制の定立のための比較法研究と理解促進の取組」
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本経営倫理学会 理事 情報ネットワーク法学会 監事 日本リスクマネジメント学会 監事・評議員 ソーシャルリスクマネジメント学会 理事 日本リスク研究学会 会員 企業法学会 会員 法とコンピュータ学会 会員 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員				
(社会貢献活動) 関西電力 経営監査委員会 社外委員 2014年7月～現在 公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員 2014年11月～現在 堀部政男情報法研究会 研究代表・理事 2010年4月～現在 経営倫理実践研究センター 上席研究員 2012年3月～現在 日本経営倫理士協会 理事 2013年8月～現在 高槻市消費者教育推進プログラム関係機関連絡会議 委員長 2014年10月～2015年3月				
(その他業績として記載を希望する事項) 名古屋商科大学大学院(MBA),『2014年度ティーチング・アワード』を受賞。 企業のCSRレポートの第三者意見等の執筆 「関西電力グループレポート2015のCSRに関するページを読んで」, 所収「関西電力グループレポート2015」2015年, 65頁 「第三者意見」, 所収「ハウス食品グループCSRレポート2015」2015年, 22頁 「第三者意見」, 所収「ポーラ・オルビスホールディングス CSR情報2015」2015年(Web掲載のみ) 「ステーキホルダーとの対話」, 所収「島津製作所 環境・社会報告書2015」2015年, 23頁 「ステーキホルダーメッセージ」, 所収「雪印メグミルク 活動報告書2015」2015年, 48頁				

■ 高橋 智幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 地震規模の不確かさを考慮した多数津波シナリオ設定モデルとその適用例	共著	2015年6月	土木学会	土木学会論文集B3(海洋開発), 門廻充侍, 高橋智幸, Vol.71, No.2, pp.I_545-I_550, 査読有
津波波力に基づく建物倒壊を考慮した津波解析の検討	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 小園裕司, 高橋智幸, 桜庭雅明, 野島和也, Vol.71, No.2 pp.I_163-I_168, 査読有
沿岸湖沼に突入する津波の水理特性に関する実験的検討	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 今井健太郎, 平川雄太, 会田俊介, 三戸部佑太, 高橋智幸, 今村文彦, Vol.71, No.2, pp.I_229-I_234, 査読有
沿岸湖沼に突入する津波による地形変化に関する水理実験	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 三戸部佑太, 今井健太郎, 平川雄太, 会田俊介, 高橋智幸, Vol.71, No.2, pp.I_235-I_240, 査読有
2011年東北津波における北上川河口部の大規模洗掘・堆積に関する数値的検討	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 今井健太郎, 菅原大助, 高橋智幸, 岩間俊二, 田中仁, Vol.71, No.2, pp.I_247-I_252, 査読有
仮想津波観測実験に基づく海洋レーダ津波検知距離の検討	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 藤良太郎, 日向博文, 藤井智史, 永松宏, 小笠原勇, 伊藤浩之, 片岡智哉, 高橋智幸, Vol.71, No.2, pp.I_337-I_342, 査読有
海洋レーダを用いた南海トラフでの津波波源および伝播観測の適地選定	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 門廻充侍, 高橋智幸, Vol.71, No.2, pp.I_343-I_348, 査読有
岩手県陸前高田市における2011年東北地方太平洋沖地震津波による大規模土砂移動の再現計算	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 山下啓, 菅原大助, 高橋智幸, 今村文彦, 齋藤友一, 今任嘉幸, 甲斐恭, 上原均, 加藤季広, 中田一人, 坂良太郎, 西川朝雄, Vol.71, No.2, pp.I_499-I_504, 査読有
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 京による津波土砂移動・地形変化のシミュレーションの開発——成果と課題	共同	2015年2月13日	海洋研究開発機構	地震津波シミュレーションワークショップ～最新研究成果を問う～, イイノカンファレンスセンター, 東京, 菅原大助, 山下啓, 高橋智幸, 今村文彦
沿岸湖沼に突入する津波の水理特性に関する基礎実験	共同	2015年3月9日	土木学会東北支部	土木学会東北支部技術研究発表会, 東北学院大学, 平川雄太, 今井健太郎, 会田俊介, 高橋智幸, 今村文彦
天然ゼオライトを用いたサンゴ育成用基盤モルタルの導電性	共同	2015年3月9日	土木学会東北支部	土木学会東北支部技術研究発表会, 東北学院大学, 勝間田成, 徳重英信, 山森滯夕, 高橋智幸, 鶴田浩章
大すべり域, 超大すべり域, 破壊開始点および地震規模の不確かさを考慮した多数津波シナリオの提案と南海トラフへの適用例	共同	2015年5月27日	日本地球惑星科学連合	日本地球惑星科学連合2015年大会, 幕張メッセ国際会議場, 門廻充侍, 高橋智幸, HDS27-P15
サンゴ再生に用いるモルタル基盤の電気抵抗性の評価	共同	2015年5月30日	土木学会関西支部	土木学会関西支部年次学術講演会, 摂南大学, 平井孝明, 竹田真義, 鶴田浩章, 高橋智幸, 徳重英信, 上田尚史
短波海洋レーダによる津波観測のためのノイズ軽減手法の開発	共同	2015年6月3日	リモートセンシング学会	日本リモートセンシング学会第58回学術講演会, 千葉大学, 片岡智哉, 藤良太郎, 日向博文, 永松宏, 小笠原勇, 伊藤浩之, 高橋智幸
The development of Augmented Reality visualization technology for tsunami risks with a camera-embedded eyeglass	共同	2015年6月29日	International Union of Geodesy and Geophysics	26th IUGG General Assembly, Prague, Kameda, C. and T. Takahashi, JP05p-008

研究業績

Tsunami numerical simulation and application of fragility curves for building damage estimation in Iquique, Chile	共同	2015年6月29日	International Union of Geodesy and Geophysics	26th IUGG General Assembly, Prague, Mas, E., L. Urrea, B. Adriano, R. Aranguiz, S. Koshimura, Y. Yagi, T. TAKAHASHI, R. Cienfuegos and T. Takashi, JP05p-010
Hydraulic experiment on water surface fluctuation generated by underwater shaking table	共同	2015年6月29日	International Union of Geodesy and Geophysics	26th IUGG General Assembly, Prague, FUJIHARA, T. and T. TAKAHASHI, JP05p-025
Comparison of fixed and movable bed conditions in tsunami modeling aimed at disaster mitigation measures	共同	2015年6月29日	International Union of Geodesy and Geophysics	26th IUGG General Assembly, Prague, TAKAHASHI, T. and Y. Morishita, JP05p-027
Experiment on morphology change caused by tsunami intrusion into lake	共同	2015年6月29日	International Union of Geodesy and Geophysics	26th IUGG General Assembly, Prague, Mitobe, Y., K. Imai, Y. Hirakawa and T. Takahashi, IUGG-5058
大分県龍神池の津波堆積物形成過程に関する数値的検討	共同	2015年9月24日	自然災害学会	第33回日本自然災害学会学術講演会, 山口大学, 今井健太郎, 菅原大助, 高橋智幸, II-8-5,
Sediment transport modeling of multiple grain sizes in V-shaped valley of Numanohama during the 2011 Tohoku tsunami	共同	2015年9月25日	The Geological Society	Arthur Holmes Meeting 2015-Tsunami Hazards and Risks: Using the Geological Record, London, Aditya Riadi Gusman, Kenji Satake, Tomoko Goto and Tomoyuki Takahashi
仮想津波観測実験に基づく海洋レーダ津波検知距離の検討	共同	2015年9月27日	日本海洋学会	日本海洋学会秋季大会, 愛媛大学, 藤良太郎, 日向博文, 藤井智史, 片岡智哉, 高橋智幸
Sediment transport modeling of multiple grain sizes in V-shaped valley of Numanohama during the 2011 Tohoku tsunami	共同	2015年10月28日	日本地震学会	日本地震学会2015年度秋季大会, 神戸, Aditya Riadi Gusman, Kenji Satake, Tomoko Goto and Tomoyuki Takahashi, S17-18
(招待講演) 南海トラフ巨大地震に備える	単独	2015年1月17日	国土交通省近畿地方整備局, 気象庁大阪管区气象台	阪神・淡路大震災20年シンポジウム, グランフロント大阪
東日本大震災を踏まえてこれからの津波防災を考える～これまでの安全審査に不足している視点～	単独	2015年3月12日	原子力規制庁	原子力規制庁勉強会, 原子力規制庁
津波防災におけるシミュレーションの役割	単独	2015年3月19日	兵庫県, 神戸市, 公益財団法人計算科学振興財団	講演会「次世代型都市シミュレーションによる防災・減災」, 兵庫県農業共済会館
耐津波工学の実践と課題	共同	2015年4月15日	日本地震工学会	原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会報告会, パネルディスカッション, 東京大学弥生講堂
津波堆積物に関する水理実験および数値計算の現状と課題ー津波波源推定に向けてー	単独	2015年5月24日	日本地球惑星科学連合	日本地球惑星科学連合2015年大会, 幕張メッセ国際会議場, MIS25-11
津波減災: 総合的な減災施策とその評価方法のデザインに向けて	単独	2015年6月7日	土木学会	第51回土木計画学研究発表会, 九州大学伊都キャンパス
津波評価小委員会の活動について	単独	2015年9月16日	土木学会	土木学会全国大会研究討論会「東北地方太平洋沖地震津波を踏まえた津波評価技術」, 岡山大学津島キャンパス
防災情報を市民に伝え, そして使ってもらうための技術開発ー東日本大震災での津波被害を踏まえてー	単独	2015年10月7日	日本工営株式会社	研究開発成果発表会, 日本工営株式会社中央研究所, つくば市
大阪を襲う巨大津波を知り, そして備えるー東日本大震災での津波被害を踏まえてー	単独	2015年10月13日	関西大学・大阪府	関西大学おおさか文化セミナー, 関西大学千里山キャンパス
Tsunami Mitigation Measures Menu	共同	2015年10月29日	PARI, JST, JICA, MLIT, CDIT	The Fifth Chile-Japan Joint Symposium on Tsunami Disaster Mitigation, Santiago, Tomoyuki Takahashi, Kenji Harada and Kentaro Imai

社会安全学研究 第6号

東日本大震災での津波被害を踏まえた今後の企業防災	単独	2015年12月11日	関西大学	第6回東京シンポジウム, 企業・組織の“強靱化”をどう進めるか～減災社会の未来構想～, 関西大学東京センター
Role of sediment transport model to improve the tsunami numerical simulation	共同	2015年12月14日	American Geophysical Union	AGU 2015 Fall Meeting, San Francisco, Daisuke Sugawara, Kei Yamashita, Tomoyuki Takahashi and Fumihiko Imamura, NH13E-01
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省次世代スーパーコンピュータ戦略プログラム	分担	2010～2015年	1,800 (14,418)	防災・減災に資する地球変動予測
独立行政法人科学技術振興機構・独立行政法人国際協力機構・地球規模課題対応国際科学技術協力プロジェクト	分担	2011～2015年	3,000 (11,910)	津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(S)	分担	2012～2016年	0 (0)	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
神戸市研究教育拠点(COE)形成推進事業	分担	2013～2017年	1,800 (63,491)	関西地域を対象とした都市防災の計算科学研究——地震津波と集中豪雨被害のハザードマップの作成——
文部科学省委託事業南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト	分担	2013～2020年	0 (0)	東日本大震災の教訓化と活用研究
原子力規制委員会原子力施設等防災対策等委託費	代表	2015年	44,743 (44,743)	津波堆積物に基づく津波波源推定手法の開発
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本地震学会				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会				
可視化情報学会				
American Geophysical Union				
(社会貢献活動)				
土木学会 原子力土木委員会 委員				
土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長				
土木学会 海岸工学委員会 委員				
土木学会 海岸工学委員会 津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会 委員長				
土木学会 海岸工学委員会 論文集編集小委員会 委員				
土木学会 海岸工学委員会 地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会 委員				
土木学会 減災アセス小委員会 委員				
土木学会 技術者資格委員会 幹事				
土木学会 海洋開発論文集査読小委員会 委員				
日本自然災害学会 編集委員会 委員				
The IUGG Joint Tsunami Commission Member				
文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員				
国土交通省 津波防災に関する懇談会メンバー				
国土交通省 京阪神都市圏広域防災拠点整備検討ワーキンググループ 委員				
国土交通省 東北地方整備局リバーカウンセラー				
大阪府 防災会議 専門委員				
大阪府 河川構造物等審議会 委員				
大阪府 南海トラフ巨大地震被害想定検証部会 委員				
大阪府 南海トラフ巨大地震に対する土木構造物耐震対策検討部会 委員				
大阪府 石油コンビナート等防災本部 専門員				

研 究 業 績

大阪府 石油コンビナート等防災本部 地震・津波被害想定等検討部会 委員

大阪市 港湾審議会 委員

堺市 津波避難対策検討協議会 委員

特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 理事

財団法人防災研究協会 非常勤研究員

鳥根県 津波検討委員会 委員

沖縄県 沖縄県における比較的頻度の高い津波（L1津波）設定検討に係るアドバイザー

■ 土田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Changes in the factors influencing public acceptance of nuclear power generation in Japan since the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Disaster.	共著	2015年7月 online	Wiley	Risk Analysis (co-authors: Tsujikawa, N., Shionani, T.) [DOI:10.1111/risa.12447] (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Is important the expected information than the detailed information: The confirmation bias as a determinant of satisfaction for risk communication. 安全社会心理学からの提言	共同	2015年9月23日	The Asian Association of Social Psychology	The 11th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology [Cebu City, Philippines] (co-author: SHIOTANI, T.)
気分が透明性の錯覚に与える影響: SNSに関するリスク・コミュニケーション場面での検討	単独	2015年8月22日	日本心理学会	日本心理学会第79回大会公募シンポジウム SS-071「情報デザインにおける実験心理学の応用」(名古屋国際会議場 [愛知県名古屋市])
	共同	2015年10月31日	日本社会心理学会	日本社会心理学会 第56回大会 (東京女子大学 [東京都杉並区]) (静間健人と共同)
(招待講演) 住民とリスクを共有する心理学	単独	2015年3月3日	電磁界情報センター	電気事業者向け電磁界リスクコミュニケーション研修 (東桜会館 [愛知県名古屋市])
心理学からみる危機管理	単独	2015年3月7日	NPO法人 健康まちづくり推進協会	第5回 防災市民サミット (阪神淡路大震災20年 東日本大震災復興支援事業) (神戸市勤労会館 [兵庫県神戸市])
リスクコミュニケーションとクライシスコミュニケーションの心理学		2015年5月22日	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構・大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構	J-PARC 安全文化醸成研修会 (原子力科学研究所 [茨城県東海村])
Citizens' risk perception toward nuclear energy		2015年6月9日	JN-HRD.net, JAEA, Univ. of Tokyo, JAIF, JICC, IAEA	Japan-IAEA Joint Nuclear Energy Management School 2015 (いばらき量子ビーム研究センター [茨城県東海村])
人間の心理と安全		2015年6月11日	関西大学	関西大学社会安全学部連続セミナー (関西大学東京センター [東京都千代田区])
原子力にかかわる認知とコミュニケーション		2015年6月27日	日本エヌ・ユー・エス(株)	JANUSサマーセミナー (AP 西新宿 [東京都新宿区])
原子力にかかわる認知とコミュニケーション		2015年9月2日	日本原子力学会	日本原子力学会社会・環境部会 (日本原子力発電本社 [東京都千代田区])
安全を心理学する: リスク心理学から見た災害時避難		2015年11月15日	山形県立酒田東高等学校同窓会「近畿亀城会」	近畿亀城会2015年総会 (ホテルモントレ大阪 [大阪府大阪市])
What is Risk Communication?		2015年12月15日	福井県国際原子力人材育成センター	Seminar for International Nuclear Business in FY 2015 (若狭湾エネルギー研究センター [福井県敦賀市])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 東北電力株式会社「受託研究」	代表	2015年度	1,609 (1,609)	EMF コミュニケーションの動向調査研究

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 日本リスク研究学会 The Society for Risk Analysis 日本心理学会 日本社会心理学会 日本グループ・ダイナミックス学会 日本応用心理学会 日本行動計量学会 法と心理学会 日本原子力学会 日本消費者行動研究学会
(社会貢献活動) (公益財) JR 西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員 財電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員 財電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー 財大阪科学技術センター, 「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員 (一社) 日本原子力学会, 社会・環境部会副会長 高槻市, 「高槻市消費者教育推進研究会」オブザーバー

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 被災者による被災者支援の効果——宮城県多賀城市の事例から—— 東日本大震災の雇用対策	共著 共著	2015.3 2015.9	ミネルヴァ書房 ぎょうせい	関西大学社会安全学部編『リスク管理のための社会安全学』191-209. (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構『災害対策全書(別冊) 国難となる巨大災害に備える』
(学術論文) 災害に強い国土利用への中長期誘導方策の研究		2015.6	内閣府経済社会総合研究所	New ESRI Working Paper, No.34.
(その他、論考・研究資料等) 地域の災害レジリエンスをどう高めるか 我が国の災害対応の発展と展望 阪神・淡路大震災から20年-経済復興の社会技術の発達と展望 研究者としての阪神20年 「阪神・淡路大震災から20年、共助を軸としたあたらしい防災へ」 想定外の事態になることを前提に即興的な対応能力の向上を 「防災・減災の活動は、それ自体が目的である」	単著 単著 単著 単著 単著 単著	2015年1月17日 2015年1月 2015年1月 2015年1月 2015年1月17日 2015年3月 2015年3月	一般財団法人ひょうご経済研究所 後藤・安田記念東京都市研究所 一般社団法人北陸地域づくり協会 日本災害情報学会 SYNODOS 日本経営協会 大阪ガス エネルギー・文化研究所	季刊『ひょうご経済』2015年1月No.125, P10-13 『都市問題』2015年1月号(第106巻第1号), P4-8 『地域づくり in ほくりく』第6号, P6-9 日本災害情報学会・ニュースレター No.60 SYNODOS『復興アリーナ』2015年1月17日 『オムニ・マネジメント』2015年3月, P14-17 『CEL』vol.109, 2015年3月, P62-63
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Did Cash for Work (CFW) Program promote recovery from 311 disasters? Did Cash for Work (CFW) Program promote recovery from 311 disasters? Estimation of the value of moral damages of the residents in non-mandatory evacuation area of 2011 nuclear power plant accident of Fukushima. Cost-Benefit Analysis of the Decontamination Policy in Fukushima, Japan	単独 単独 共著 共著	2015.3.16 2015.7.20 2015.10.29 2015.10.30	United Nations University Hazard Reseach Center, Colorado University IDRiM Society IDRiM Society	UNU-FGC Panel Debate at WCDRR, Sendai. 40th Annual Natural Hazard Workshop, Boulder, CO. International Society for Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) 2015 Conference, Delhi, India International Society for Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) 2015 Conference, Delhi, India
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科研費挑戦的萌芽研究 科研費基盤研究B 科学研究費(基盤S)	代表 代表 分担	平成27年度～28年度 平成25年度～27年度 平成24年度～28年度	1400(2400) 1800(12100) 1250(5000)	国土再編に資するマルチハザード型災害リスク指数の開発 東日本大震災におけるCFWの実態調査と災害対応技術としての確立 「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策

研 究 業 績

科学研究費（基盤B）	分担	平成25年度～ 27年度	250 (750)	大規模災害時における復旧・復興支援ガ バナンスの比較研究
文部科学省都市の脆弱性が引き起こす激甚 災害の軽減化プロジェクト「都市災害にお ける災害対応能力の向上方策に関する調 査・研究」チーム	分担	平成24年～ 28年度	1500 (7500)	都市災害の経済シナリオ作成
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公共政策学会，日本経済学会，日本計画行政学会，地域安全学会，日本自然災害学会，日本リスク研究学会，日本災害復興学会， 日本自治体危機管理学会，日本行政学会，日本災害情報学会				
(社会貢献活動)				
一般社団法人 キャッシュ・フォー・ワーク・ジャパン 代表理事 地域安全学会 学術委員 日本災害復興学会 企画委員長				

■ 中 村 隆 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) ロンドン・ヒースロー空港の救急医療体制 について	共同	2015年11月6日	日本航空医療学会	第22回日本航空医療学会総会, 前橋テル サ
(招待講演) 新しい視点からのヒューマンエラー対応 —実践の手がかり—	単独	2015年6月29日	関西化学工業協会	安全講演会, 大阪科学技術センター
安全管理とヒューマンエラー	単独	2015年7月1日	関西大学理工系学部	安全衛生講演会, 関西大学
新しい視点からのヒューマンエラー対応	単独	2015年3月20日	認定NPO法人救急 ヘリ病院ネットワ ーク	ドクターヘリ安全研修会基調講演, 豊岡 病院
リスクアセスメントに取り組むうえでの課 題・問題点とその対応	単独	2015年5月11日	東京電力株式会社品 質・安全監査部	東京電力安全講話, 東京電力
組織的取組みとしてのヒューマンエラーへ の対応	単独	2015年7月29日	認定NPO法人救急 ヘリ病院ネットワ ーク	HEM-Net 安全シンポジウム【ドクター ヘリの安全運航をめぐる諸問題】基調講 演, 全国町村議員会館
効果的なヒューマンエラー対応のために 事故・災害の防止とヒューマンエラー対応 について	単独 単独	2015年7月3日 2015年12月18日	日本ソーダ工業会 高槻市	年次大会講演会, 京都ガーデンパレス 高槻産業振興懇談会, 高槻商工会議所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費助成事業 基盤研究C	代表	平成25~27年度	130	産業事故防止のための危険体験教育の高度 化
国際交通安全学会 自主研究調査プロジェ クト	分担	平成27年度		アクセルとブレーキの踏み違いに関係す る高齢者の認知・行動特性の分析
以下, フリー記入				
(所属学会)				
日本心理学会 正会員				
日本応用心理学会 正会員				
日本人間工学会 正会員				
日本交通心理学会 正会員				
産業組織心理学会 正会員				
日本ヒューマンインタフェース学会 正会員				
土木学会 正会員				
電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員				
日本航空医療学会 正会員				
日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員				
(社会貢献活動)				
一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師				
東北大学大学院 東北電力受託研究プロジェクト「組織安全と現場における作業実態と手順書の関係に着目したヒューマンファクタ研究」 技術情報交換研究会				
東京電力株式会社 ビジネスソリューション・カンパニー 総合研修センター 平成27年度「安全教育研修」の実施に伴う指導・評価				
東京電力株式会社 パワーグリッド・カンパニー 人身災害防止に向けた安全活動の指導支援				
茨城経営者協会 「ヒューマンエラー対策セミナー」講師 2015年10月23日 水戸三の丸ホテル				

研 究 業 績

■ 西 村 弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 現代交通問題 考	分担執筆	2015年12月	成山堂書店	衛藤卓也監修、根本敏則・後藤孝夫・大井尚司編、第7章「日本における交通需要管理政策の現状と課題——道路公害地域での交通需要管理——」86-98頁、担当。
(学術論文) 日本における交通需要管理政策の現状と課題——道路公害地域での交通需要管理——	単著	2015年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究 vol.5 p.23-36 (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 交通経済学と交通論	単独	2015年10月11日	日本交通学会	日本交通学会第74回研究報告会、八戸学院大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会 (理事) 日本海運経済学会 (評議員) 交通権学会 (理事) 日本港湾経済学会 物流学会 日本環境会議 (理事) 公益事業学会 (監事)				
(社会貢献活動) 公益財団法人 地域再生センター (通称あおぞら財団) 評議員 高槻市産業振興審議会委員 京都市域タクシー準特定地域協議会会長 広島交通圏タクシー特定地域協議会会長				

■ 広瀬 幸雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 「国難」となる巨大災害に備える	分担執筆	2015年9月	ぎょうせい	編者ひょうご震災記念21世紀研究機構 第4章 3.7 574-575頁 原子力災害と リスクコミュニケーション
(学術論文) 手続き的公正さと行政への信頼がごみ収集 料値上げの受容に及ぼす効果 Effects of voice and similarity on procedural fairness and trust: A dual process model of public acceptance based on representatives' participation	共著 共著	2015年3月 2015年9月	関西大学社会安全学 部 AASP	社会安全学研究, 5号, 15-22頁 広瀬幸 雄・大友章司(査読有) Asian journal of social psychology, vol. 18, 216-224, doi: 10.1111/AJSP.12097 Nonami,H., Hirose,Y., Ohnuma,S., Midden,C.& Ohtomo,S.(査読有)
(その他, 論考・研究資料等) Two-phase decision-making model of environmental conscious behavior and its application for the waste reduction behavior	単著	2015年3月	関西大学社会安全学 部	社会安全学研究, 5号, 81-91頁(査読 無)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演) EUにおける環境関連計画での参加と合意 形成の動向	単独	2015年5月30日	立命館大学地域情報 研究所	立命館大学大阪いばらきキャンパス地域 情報研究所開設記念シンポジウム基調講 演
(口頭発表) Determinants on public acceptance of siting a facility for high-level radioactive waste in the UK Environmental education by playing an industrial waste game: A comparison between Chinese, Korean, and Japanese university students 高レベル放射性廃棄物地層処分受容の規定 因: 英国事例調査 信頼と手続き的公正さが高レベル放射性廃 棄物地層処分施設の立地調査受容に及ぼす 効果 指定廃棄物の処分場立地調査の受容モデル の検討 指定廃棄物処分場選定の合意形成を促すリ スコミゲームの開発	共同 共同 共同 共同 共同 単独	2015年6月17日 2015年7月20日 2015年10月31日 2015年10月31日 2015年10月31日 2015年12月6日	the society of risk analysis ISAGA 日本社会心理学会 日本社会心理学会 日本社会心理学会 日本シミュレーショ ン&ゲーミング学会	24th SRS-Europe Meeting, Marstricht, The Netherlands the 46th annual conference of ISAGA, Kyoto, Japan 第56回社会心理学会大会 東京女子大学 第56回社会心理学会大会 東京女子大学 第56回社会心理学会大会 東京女子大学 日本シミュレーション&ゲーミング学会 2015年度秋季大会 福岡大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学技術融合振興財団調査研究助成金	代表	2015年~2016年	840千円 (840千円)	多段階の公正な手続きプロセスを含むゲ ーミングを用いたNIMBY型公共事業の 合意形成に関する研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本シミュレーション&ゲーミング学会, 日本社会心理学会, 日本心理学会, 土木学会, 日本リスク研究学会,				

研 究 業 績

■ 山 川 栄 樹

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 数理学入門	単著	2015年2月	電気書院	pp. i-v, 1-220
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
以下、フリー記入				
(所属学会) システム制御情報学会 日本応用数学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会				

■ 山 崎 栄 一

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 大震災20年と復興災害	分担執筆	2015年1月	クリエイツかもがわ	兵庫県震災復興研究センター編 被災者台帳システムのさらなる普及を 140～143頁 災害対策基本法——改正の意義と残された課題 144～147頁
リスク管理のための社会安全学	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 第12章 法学者から見た防災教育 232～248頁
災害対策全書 別冊 「国難」となる巨大災害に備える～東日本大震災から得た教訓と知見～	分担執筆	2015年9月	ぎょうせい	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 原子力災害対策特別措置法 582～587頁
(その他、論考・研究資料等) 分科会報告「分科会1 首都直下型地震における災害関連法制及び立憲主義」	単著	2015年12月	日本災害復興学会	JSDRR Newsletter Vol.23 2頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 公開セミナー：研究報告会「阪神・淡路大震災の教訓からみた東日本大震災」	コーディネーター	2015年1月12日	日本災害復興学会関西学院大学災害復興制度研究所	東日本大震災検証プロジェクト委員会 関西学院大学F号館104号室
原発避難生活とパパ・ママ支援の現状と課題	コーディネーター	2015年8月1日	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B)海外学術調査「復興・防災まちづくりとジェンダー」	ジェンダーと災害復興ミニシンポジウム 神戸国際会館7階701号室
被災者支援の法制度	単独	2015年6月20日	北陸公法判例研究会	石川四高記念文化交流館
分科会報告：首都直下型地震における災害関連法制及び立憲主義	コーディネーター	2015年9月26日	日本災害復興学会	2015年度日本災害復興学会大会 専修大学神田キャンパス1号館2階204号室
インクルーシブ防災を目指した街づくり [第1部] 被災地からの発信 [第2部] これからの復興・街づくり提言	コーディネーター シンポジスト	2015年11月21日	東北福祉大学	東北福祉大学ステーションキャンパス3階300教室
(招待講演) 災害と法	単独	2015年1月9日	明石工業高等専門学校	明石工業高等専門学校
災害時要援護者対策について	単独	2015年1月26日	東京都清瀬市	清瀬市役所
災害時要援護者支援と個人情報	単独	2015年2月11日	横浜市瀬谷区	瀬谷公会堂
地域ぐるみの避難支援体制の構築に向けて	パネリスト	2015年1月30日	災害時要援護者サポートミーティング実行委員会	ひょうご防災リーダーOB 公開講座 ホテル北野プラザ六甲荘マジョラム
避難行動要支援者の避難支援	単独	2015年2月22日	兵庫県播磨町	野添コミュニティセンター
災害関連法体系について	単独	2015年3月6日	関西広域連合・和歌山県	和歌山県庁南別館2階201会議室
憲法って何だろう？ ～防災に生きる憲法のチカラ～	単独	2015年3月7日	岸和田市	岸和田市立公民館
避難行動要支援者の避難支援	単独	2015年3月10日	熊本県	避難行動要支援者対策に関する市町村担当者研修会 熊本県庁新館2階201会議室
災害時における避難支援のあり方 ——行政と地域関係機関の役割	単独	2015年3月23日	北海道江別保健所	道民活動振興センターかでの 2.7 520研修室
災害法制と国家緊急権	単独	2015年6月1日	日弁連	弁護士会館
法律から見る行方不明者の氏名公表 ——安否確認と個人情報	単独	2015年5月30日	減災報道研究会	JICA 関西2階ブリーフィングルーム
災害対策基本法で市民は守れるか ——市町村の役割と課題	単独	2015年6月4日	震災対策技術展	コングレコンベンションセンター (グランフロント大阪内)
災害関連法体系基礎	単独	2015年6月5日	人と防災未来センター	災害対策専門研修 (自治体職員向け) 人と防災未来センター

研 究 業 績

災害対策基本法で市民は守れるか — 市町村の役割と課題	単独	2015年6月25日	関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科	平成27年度安全・安心社会を創りだすための社会安全学 東京シンポジウム 関大東京オフィス
災害関連法体系基礎	単独	2015年7月3日	三重県 三重大学	平成27年度 市町防災担当職員を対象とした防災講座 三重大学
災害と法	単独	2015年8月3日	奈良工業高等専門学校	奈良工業高等専門学校
災害時における民生委員の関わり方	単独	2015年8月20日	三田市民生委員児童委員協議会	三田市 フラワー市民センター
災害と法	単独	2015年8月25日	大阪工業高等専門学校	大阪工業高等専門学校
自然災害と被災者支援	単独	2015年8月27～29日	大分県防災活動支援センター	防災士養成研修 大分県総合社会福祉会館4階ホール 由布市庄内庁舎2階会議室 佐伯市三余館多目的ホール
被災者の生活再建と支援制度	単独	2015年10月24～25日	兵庫県	平成27年度「ひょうご防災リーダー講座」兵庫県広域防災センター 村岡老人福祉センター
災害時における民生委員児童委員の役割	単独	2015年11月30日	高槻市民生委員児童委員協議会	高槻市総合センター14階 C-1401
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
基盤研究 (B) (海外学術調査)	分担	2013年度～ 2016年度	400	アジア諸国の災害管理・復興に資する法制度構築の提言型学術調査
基盤研究 (B) (海外学術調査)	分担	2013年度～ 2015年度	400	復興・防災まちづくりとジェンダー —生活再建と制度設計に関する国際比較研究
基盤研究 (C) (一般)	分担	2014年度～ 2016年度	360	住宅再建にかかる公的支援を補完するシステムの制度化—復興基金・義援金の役割に着目して—
挑戦的萌芽研究	分担	2014年度～ 2015年度	200	日本の学校教育における防災教育の体系化、スタンダードの構築
都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト (文部科学省)	分担	2012年度～ 2016年度	800	都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公法学会 日本社会保障法学会 日本公共政策学会 日本災害復興学会 (理事 学会誌編集委員会委員長 法制度委員会副委員長) 日本災害情報学会 地域安全学会 日本火災学会 地区防災計画学会 (幹事)				
(社会貢献活動)				
総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員 大分県再生可能エネルギー等導入推進基金事業外部評価委員会 委員 高槻市行財政改革推進委員会 委員 大阪府立大学評価委員会 委員 NPO法人 障害者自立支援センター ドリームロード 監査				

■ 桑 名 謹 三

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 保険制度による減災効果の検証	単著	2015年3月30日	ミネルヴァ書房	『リスク管理のための社会安全学』, 67-82 頁.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本保険学会, 日本公共政策学会, 日本経済政策学会, 環境経済・政策学会, 環境法政策学会, 環境科学会, 法と経済学会				

研究業績

■ 河野和宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 災害時の学内安否確認システムに関する一検討～マークシート方式かICカード方式か～	単著	2015年7月	関西大学インフォメーションテクノロジーセンター	関西大学インフォメーションテクノロジーセンター年報2014, No.5, P3-14 (査読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 国際安全規格から考える情報セキュリティ	単独	2015年2月23日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, SSS2014-29, P21-24, 関西大学 (査読なし)
情報機器利用者のセキュリティ意識向上に関する研究—現在のインシデントから考える未来のセキュリティリスクの抽出と利用規約のアイコン化—	共同	2015年2月23日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, SSS2014-30, P25-28, 関西大学 (松阪聡介, 中川直樹, 河野和宏) (査読なし)
3D環境を用いた情報セキュリティ教育ツールの開発	共同	2015年3月11日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2015年総合大会, D-15-1, P180, 立命館大学 (今井亮, 河野和宏) (査読なし)
GBS理論を用いた疑似体験型防災学習教材の開発	共同	2015年3月11日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2015年総合大会, D-15-4, P183, 立命館大学 (二神凌, 河野和宏) (査読なし)
用途別に見たパスワードの管理意識の分析	共同	2015年3月11日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2015年総合大会, D-15-7, P186, 立命館大学 (岩城慎也, 河野和宏) (査読なし)
秘密分散機能を有するQRコードの生成法	共同	2015年3月12日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2014-92, P91-96, 大濱信泉記念館 (倉元雅樹, 河野和宏, 伊藤義道, 馬場口登) (査読なし)
手指の構造と運動に対する制約からみたマルチタッチアクションにおけるユーザビリティの評価	共同	2015年3月12日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2014-93, P97-102, 大濱信泉記念館 (中村公美, 河野和宏, 伊藤義道, 馬場口登) (査読なし)
TF-IDF法によるユーザへの情報推薦のための匿名化処理	共同	2015年5月21日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, IT2015-10, EMM2015-10, P51-56, 京都市国際交流会館 (新井健介, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
Owner Authentication for Mobile Devices Using Motion Gestures Based on Multi-Owner Template Update	共同	2015年6月29日	IEEE	Proc. of 2015 Workshop on User Authentication for Emerging Interfaces (UAEI), in conjunction with IEEE International Conference on Multimedia and Expo (ICME2015), 6 pages, Torino, Italy (S. Karita, K. Nakamura, K. Kono, Y. Ito, N. Babaguchi) (査読あり)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会・科学研究費補助金・若手研究 (B)	代表	2015～2017	800,000円 (2,300,000円)	セキュリティ意識向上に向けた習熟度別・年代別学習システムの開発
日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (A)	連携研究者	2012～2015	0円 (0円)	センシングで得られるプライバシー情報の開示に調和したユーザ利得の創出
関西大学教育研究高度化促進費	共同研究者	2014～2015	0円 (0円)	わが国の新たな情報法制の定立のための比較法研究と理解促進の取組

以下、フリー記入
<p>(所属学会)</p> <p>電子情報通信学会 (IEICE)</p> <p>情報処理学会 (IPSJ)</p> <p>地域安全学会 (ISSS)</p> <p>日本信頼性学会 (REAJ)</p> <p>公益事業学会 (JSPU)</p> <p>The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)</p> <p>Association for Computing Machinery (ACM)</p>
<p>(社会貢献活動)</p> <p>電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM研), 幹事補佐 (2014年4月1日～)</p> <p>ITセンター情報セキュリティ啓蒙キャンペーン「これだけは押さえておきたい!パスワードの管理術」(2015年5月12日)</p> <p>夢ナビライブ2015「あなたの個人情報は大丈夫? 漏えいを考える」(2015年6月20日)</p> <p>知の広場, 安全・安心社会と社会安全学「情報漏洩の事例と対策」(2015年7月9日)</p> <p>関西大学教員免許状更新講習「安全教育:防災と情報セキュリティ」(2015年8月10日)</p> <p>関西大学高槻ミューズキャンパス公開講座第21回「子どもとスマホ——スマホトラブルから子ども達を守る——:スマホを活用して安全・快適な生活を送るために」(2015年11月12日)</p> <p>関西大学 Kan-Dai 3 セミナー「社会安全学部セミナー～身近な社会の安全・安心を科学する:指紋認証システムは本当に破れない? ——身近な情報セキュリティ技術の安全性を考える」(2015年12月19日)</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>2014年発表の「適応型テンプレートによる行動的特徴を用いたモバイル端末認証」(荻田成樹, 中村公美, 河野和宏, 伊藤義道, 馬場口登) が2014年度 EMM 研究会学生研究賞を受賞</p> <p>2014年発表の「スマートフォンにおける加速度・ジャイロセンサを用いた手軽な動作による所有者認証」(荻田成樹, 中村公美, 河野和宏, 伊藤義道, 馬場口登) が2014年度電子情報通信学会学術奨励賞受賞を受賞</p>

研究業績

■ 越山健治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 災害対策全書別冊 「国難」となる巨大災害に備える	分担執筆	平成27年9月	ぎょうせい	ひょうご震災記念21世紀研究機構 編、「第1章 防災・減災 9 巨大災害とまちづくり 9.1 巨大災害と向き合うまちづくり」(pp.190-191)と「9.7 復興から得られた予防的教訓 広域地方計画の役割」(pp.218-221)を担当。
(学術論文) 災害復興公営住宅が有する役割の変遷 住宅火災警報器の外部通報者奏功事例の分析 2014年丹波豪雨災害における住民の避難行動に関する調査報告 広域巨大災害における仮住まい供給方策に関する考察	単著 単著 単著 単著	平成27年3月 平成27年9月 平成27年9月 平成27年11月	都市住宅学会 日本建築学会 日本災害情報学会 地域安全学会	都市住宅学 (88), pp.58-61 2015年度日本建築学会大会学術講演梗概集 A-2, pp.355-356 日本災害情報学会第17回研究発表大会予稿集 地域安全学会梗概集 No.37, pp.91-94
(その他、論考・研究資料等) 3.4.3 巨大災害を見据えた広域計画の組み立て 3.5.4 防災・開発思考を脱却した復興都市計画と実行環境整備	単著 単著	平成27年1月 平成27年1月		東日本大震災合同調査報告「都市計画編」第2部調査報告本編 第3章防災の取り組みと減災への備え 東日本大震災合同調査報告「都市計画編」第2部調査報告本編 第3章防災の取り組みと減災への備え
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 住宅火災警報器の外部通報者奏功事例の分析 2014年丹波豪雨災害における住民の避難行動に関する調査報告	単独 単独	2015年9月6日 2015年10月25日	日本建築学会 日本災害情報学会	2015年度日本建築学会大会(関東), 東海大学 2015年日本災害情報学会第17回山梨大会, 山梨大学
(招待講演) メモリアルカンファレンスイン神戸2015 第6分科会 復興まちづくり 幹事 大震災から得られた地域の防災対策 高槻市を取り巻く災害危険性とその備え 都市の防災と安全 災害対応概論(復旧・復興) 災害復興ができる「まち」が防災力の高い「まち」 巨大災害発生へのカウントダウン 災害対応概論(復旧・復興) 災害対応に見る行政組織の危機管理 自ら考える安全計画へ 都市居住に見るライフライン・ネットワークがもたらす災害リスク	単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独	2015年1月20日 2015年1月24日 2015年1月31日 2015年6月4日 2015年6月10日 2015年6月13日 2015年10月2日 2015年10月8日 2015年11月10日 2015年11月12日 2015年12月3日	メモリアルカンファレンスイン神戸実行委員会 高槻市 高槻市 震災対策技術展事務局 人と防災未来センター 全国町並み保存連盟 インターリスク総研 人と防災未来センター 関西社会人大学院連合 船場減災展実行委員会 東京大学総合防災情報研究センター	メモリアルカンファレンスイン神戸2015, 神戸市 防災指導員養成講座 防災指導員養成講座 第二回震災対策技術展, 大阪市 災害対策専門演習 エキスパートコースA 第38回国町並みゼミ第2分科会, 兵庫県豊岡市 大阪市 災害対策専門演習 エキスパートコースA, 神戸市 平成27年西宮市職員研修 第5回船場減災展シンポジウム, 大阪市 第73回 CIDIR ライフライン・マスコミ連携講座

社会安全学研究 第6号

災害に強いまちをつくるための知恵と方法	単独	2015年12月4日	島本第二中学校	
高槻市における災害の備え方	単独	2015年12月5日	高槻市	防災指導員養成講座
東日本大震災からの復興状況	単独	2015年12月12日	兵庫県	平成27年度ひょうご防災リーダー講習, 三木市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費 基盤研究 (B)	代表	2014～2017年度	3100 (11900)	巨大災害を見据えたすまいの復興計画の あり方の研究
都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減 化プロジェクトサブプロ③	分担	2012～2016年度	1400 (6300)	関西圏における災害復興事例の分析
科学研究費 基盤研究 (B)	分担	2013～2015年	250 (500)	東日本大震災におけるCFWの実態調査 と災害対応技術としての確立
科学研究費 基盤研究 (B)	分担	2013～2015年	50 (350)	東日本大震災からの住宅復興に関する被 災者実態変化の追跡調査研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本建築学会都市計画委員会 都市防災ワーキンググループ				
日本都市計画学会				
地域安全学会 学術委員会委員				
日本火災学会				
都市住宅学会				
日本自治体危機管理学会				
日本災害情報学会 編集委員会委員				
日本災害復興学会				
(社会貢献活動)				
大阪府石油コンビナート等防災本部地震・津波被害想定検討部会 委員				
高槻市 まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 委員				
高槻市総合計画審議会 委員				
埼玉県防災学習センターあり方検討会 副委員長				

■ 小山倫史

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) リスク管理のための社会安全学 ― 自然・社会災害への対応と実践	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編、「第7章 ゲリラ豪雨と斜面崩壊」(p.128-143)を担当
(その他、論考・研究資料等) 地盤工学のための個別要素法 2. 個別要素法でできること	共著	2015年4月	地盤工学会	地盤工学会誌, 中田幸男, 前田健一, 松島亘志, 森口周二, <u>小山倫史</u> , Vol.63, No.4, pp.49-56.
地盤工学のための個別要素法 3. 一次元の個別要素法	共著	2015年5月	地盤工学会	地盤工学会誌, 森口周二, 前田健一, 松島亘志, 中田幸男, <u>小山倫史</u> , Vol.63, No.5, pp.53-60.
地盤工学のための個別要素法 4. 二次元の個別要素法	共著	2015年6月	地盤工学会	地盤工学会誌, 松島亘志, 前田健一, 森口周二, 中田幸男, <u>小山倫史</u> , Vol.63, No.6, pp.55-62.
地盤工学のための個別要素法 5. 個別要素法の様々な拡張	共著	2015年7月	地盤工学会	地盤工学会誌, <u>小山倫史</u> , 森口周二, 中田幸男, 松島亘志, 前田健一, Vol.63, No.7, pp.49-56.
地盤工学のための個別要素法 6. パラメータの設定と土と地盤の作り方 その1	共著	2015年8月	地盤工学会	地盤工学会誌, 前田健一, 森口周二, 松島亘志, <u>小山倫史</u> , 中田幸男, Vol.63, No.8, pp.71-78.
地盤工学のための個別要素法 7. パラメータの設定と土と地盤の作り方 その2	共著	2015年9月	地盤工学会	地盤工学会誌, 前田健一, 森口周二, 松島亘志, <u>小山倫史</u> , 中田幸男, Vol.63, No.9, pp.56-64.
Trial construction of vertical shaft	共著	2015年12月	JASA: Japan + APSARA Authority	Annual technical report on the survey of Angkor monument 2014-2015, Iwasaki, Y., Fukuda, M., Yamada, S., Adachi, T., Araya, M., <u>Koyama, T.</u> , Ishizuka, M., Chapter 5, 5.2, pp.115-124.
Installation of moisurure sensor	共著	2015年12月	JASA: Japan + APSARA Authority	Annual technical report on the survey of Angkor monument 2014-2015, <u>Koyama, T.</u> , Yamada, S., Iwasaki, Y., Fukuda, M., Shimoda, I., Ishizuka, M., Chapter 5, 5.6, pp.132-137.
Geotechnical characteristics of compacted sandy soil in the outer gallery platform of the Bayon	共著	2015年12月	JASA: Japan + APSARA Authority	Annual technical report on the survey of Angkor monument 2014-2015, Hashimoto, R., <u>Koyama, T.</u> , Kikumoto, M., Kawakami, K., Chapter 5, 5.8, pp.143-148.
Crack/joint measurement of ancient masonry structures using photogrammetry at Bayon central tower, Angkor archaeological park, Cambodia	共著	2015年12月	JASA: Japan + APSARA Authority	Annual technical report on the survey of Angkor monument 2014-2015, <u>Koyama, T.</u> , Nakanishi, Y., Hashimoto, R., Iwasaki, Y., Chapter 5, 5.9, pp.149-153.
Geotechnical study in Preah Vihear	共著	2015年12月	JASA: Japan + APSARA Authority	Annual technical report on the survey of Angkor monument 2014-2015, Fukuda, M., Iwasaki, Y., Araya, M., Yamada, S., <u>Koyama, T.</u> , Hashimoto, R., Ishizuka, M., Chapter 7, 7.5, pp.214-222.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Development of soil-water coupled NMM-DDA.	共同	2015年6月28日 ～7月1日	ARMA (米国岩盤力学学会)	The 49th US Rock Mechanics/ Geomechanics Symposium, San Francisco, USA, Hashimoto, R. <u>Koyama, T.</u> and Kikumoto, M., paper ID: ARMA 15-460, pp. 1-7 (査読付).

Resistivity profiles and foundation structure of Central Tower in Bayon Temple, Angkor Thom.	共同	2015年 9月26～27日	IAEG (国際応用地質学会)	The 10th Asian Regional Conference of IAEG, Kyoto, Japan, Nakagawa, K., Iwasaki, Y., Araya, M., Yamada, S., Shimoda, I., Nakagawa, T. and <u>Koyama T.</u> , paper ID:1082852 (査読付).
道路法面における現地計測に基づいた道路規制基準の検討	共同	2015年11月20日	地盤工学会関西支部	Kansai Geo-Symposium 2015— 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—, 大阪私立大学, 渡邊義裕, 藤本将光, <u>小山倫史</u> , 小林猛嗣, 徳永博, 倉岡千郎, 中井卓巳, 丸木義文, 安藤貴志, 深川良一, pp.177-180 (査読付).
バイヨン寺院 (アンコールトム) 直下の比抵抗断面と地下構造	共同	2015年 5月31日	日本応用地質学会関西支部	平成25年度総会・研究発表会, 大阪市立大学, 中川康一, 岩崎好規, 新谷真人, 山田俊亮, 下田一太, 中川武, <u>小山倫史</u> .
土-水連成 NMM-DDA の開発と検証解析	共同	2015年 9月1～3日	地盤工学会	第50回地盤工学会研究発表会, 北海道科学大学, 札幌市, 橋本涼太, <u>小山倫史</u> , 菊本統, 三村衛, 講演概要集 pp.803-804.
アンコール遺跡バイヨン中央塔における精密写真測量を用いた塔体・基壇の石積み変状の計測	共同	2015年 9月1～3日	地盤工学会	第50回地盤工学会研究発表会, 北海道科学大学, 札幌市, 中西由起, <u>小山倫史</u> , 橋本涼太, 岩崎好規, 講演概要集, pp.37-38
CFD-DEM によるグラウト動的注入工法のシミュレーション	共同	2015年 9月1～3日	地盤工学会	第50回地盤工学会研究発表会, 北海道科学大学, 札幌市, 保木勇介, <u>小山倫史</u> , 清水浩之, 講演概要集, pp.121-122.
河川堤防における高水敷に着目した浸透挙動に関する考察	共同	2015年 9月1～3日	地盤工学会	第50回地盤工学会研究発表会, 北海道科学大学, 札幌市, 李圭太, 富澤彰仁, 小林猛嗣, 小西康之, 柚本真介, 藤田庸介, <u>小山倫史</u> , 大西有三, 講演概要集, pp.925-926.
ボックスカルバートが近接する河川堤防の地震時挙動に関する考察	共同	2015年 9月1～3日	地盤工学会	第50回地盤工学会研究発表会, 北海道科学大学, 札幌市, 李圭太, 上野舞子, 岡嶋義行, 小西康之, 柚本真介, 藤田庸介, <u>小山倫史</u> , 大西有三, 講演概要集, pp.1589-1590.
河川堤防の築堤履歴に着目した盛土による地盤変状解析に関する考察	共同	2015年 9月1～3日	地盤工学会	第50回地盤工学会研究発表会, 北海道科学大学, 札幌市, 李圭太, 中土井祐輔, 小林猛嗣, 小西康之, 柚本真介, 藤田庸介, <u>小山倫史</u> , 大西有三, 講演概要集, pp.801-802.
河川堤防に近接する地中構造物における三次元浸透挙動に関する考察	共同	2015年 9月1～3日	地盤工学会	第50回地盤工学会研究発表会, 北海道科学大学, 札幌市, 李圭太, 田川央, 小林猛嗣, 小西康之, 柚本真介, 藤田庸介, <u>小山倫史</u> , 大西有三, 講演概要集, pp.1083-1084.
厚層透水地盤を有する河川堤防における銅矢板を用いた浸透対策に関する考察	共同	2015年 9月1～3日	地盤工学会	第50回地盤工学会研究発表会, 北海道科学大学, 札幌市, 李圭太, 吉川智勝, 大橋泰博, <u>小山倫史</u> , 大西有三, 講演概要集, pp.1087-1088.
NMM による打継目を有する無筋コンクリート橋脚の地震応答解析	共同	2015年 9月16～18日	土木学会	土木学会第70回年次学術講演会, 岡山大学, <u>小山倫史</u> , 橋本涼太, 坂岡和寛, 講演概要集, pp.229-230.
国道沿い斜面を対象とした数値解析と実効雨量を組み合わせた雨量通行規制基準の提案	共同	2015年 9月16～18日	土木学会	土木学会第70回年次学術講演会, 岡山大学, <u>小山倫史</u> , 藤本将光, 渡邊義裕, 徳永博, 倉岡千郎, 小林猛嗣, 丸木義文, 中井卓巳, 安藤貴志講演概要集, pp.449-450.
現地モニタリングに基づいた道路規制基準の検討	共同	2015年 9月16～18日	土木学会	土木学会第70回年次学術講演会, 岡山大学, 渡邊義裕, 藤本将光, <u>小山倫史</u> , 徳永博, 倉岡千郎, 小林猛嗣, 丸木義文, 中井卓巳, 安藤貴志, 深川良一, 講演概要集, pp.415-416.

研究業績

(招待講演)					
降雨による土砂災害と情報	単独	2015年5月7日	関西大学		連続セミナー「安全・安心社会を創りだすための社会安全学」(第4回)、関西大学東京センター、東京
豪雨による災害から身を守る～災害情報の活用法	単独	2015年5月9日	関西大学校友会枚方支部		関西大学校友会枚方支部社会連携事業・公開講座、枚方市民会館
東日本大震災における液状化被害	単独	2015年6月3日	関西大学		2015年度第3回社会安全学セミナー、関西大学高槻ミュージックキャンパス
降雨による土砂災害と情報の高精度化	単独	2015年6月4日	震災対策技術展		第2回「震災対策技術展」大阪-自然災害対策技術展-、コングレコンベンションセンター、大阪
ゲリラ豪雨時の土砂災害から身を守る!	単独	2015年6月19日	関西大学		関西大学高槻ミュージックキャンパス公開講座
地層処分と工学的技術	単独	2015年11月7日	高レベル放射性廃棄物処分研究連絡会		第2回高レベル放射性廃棄物処分研究連絡会、名古屋大学依記念学術交流館、名古屋
The importance of in-situ measurement to improve the accuracy of the early warning system for landslide	単独	2015年11月28日	KOSHAM		The 3rd Asian Conference on Urban Disaster Risk Reduction, KINTEX, Seoul, South Korea
個別要素法以外の不連続体解析手法(不連続変形法を中心に)	単独	2015年2月23日	地盤工学会		地盤に関する解析技術(個別要素法)講習会
個別要素法以外の不連続体解析手法(不連続変形法を中心に)	単独	2015年12月1日	地盤工学会		地盤に関する解析技術(個別要素法)講習会
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)		研究テーマ
(競争的資金)					
文部科学省科学研究補助金 基盤研究(B)	代表	2014~2016年	4,290(14170)		アンコール遺跡バイヨン寺院の安定化と修復・保存に向けた地盤・岩盤工学的検討
文部科学省科学研究補助金 基盤研究(A)	分担	2014~2016年	500(28470)		熱・水・応力・化学連成場の岩盤透水・力学特性の解明と連成数値シミュレータの開発
国土交通省近畿地方整備局 新都市社会技術融合創造研究会	代表	2013~2015年	4,989.6(15,937.75)		降雨特性に応じた道路通行規制のあり方に関する研究
国土交通省国土技術政策総合研究所 下水道革新的技術実証研究(B-DASHプロジェクト)	代表(学)	2015年	3,382.163(39,931.478)		三次元陥没予兆診断技術に関する実証研究
国土交通省 平成27年度 河川砂防技術研究開発公募・河川技術分野	共同研究者	2015~2017年	0		パイピングに伴う堤防劣化を考慮した河川堤防評価技術の開発
国土交通省 平成25年度 河川砂防技術研究開発公募・河川技術分野	共同研究者	2013~2015年	0		電気探査および統合型貫入試験による堤防断面土質モデルの構築に関する技術開発
JST-JICA 地球規模課題対応国際科学技術協力事業	共同研究者	2010~2015年	0		マレーシアにおける地すべり災害および水害による被災低減に関する研究
以下、フリー記入					
(所属学会)					
土木学会					
地盤工学会					
資源・素材学会					
岩の力学連合会					
地下水学会					
地すべり学会					
計算工学会					
(社会貢献活動)					
土木学会、岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会(WG2分科会長)					
土木学会、岩盤力学委員会 論文小委員会、委員					
土木学会、応用力学委員会 離散体の力学小委員会、委員					
土木学会、地下空間研究委員会 維持管理小委員会、委員					
土木学会、地盤安定解析高度化小委員会、WG1:破壊進展を考慮した安定性評価WG、委員					

国際地盤工学会アジア地域技術委員会ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia), 委員
地盤工学会, Soils and Foundations, 編集委員

地盤工学会関西支部, 「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会, 委員

地盤工学会関西支部, 斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究会, 委員

地盤工学会関西支部, 総務幹事

International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission), member

International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Grouting, member

岩の力学連合会, 電子ジャーナル委員会, 委員

岩の力学連合会, RockNet 委員会, 幹事

国土交通省近畿地方整備局, 道路防災ドクター

国土交通省近畿地方整備局, トンネルアドバイザー

国土交通省近畿地方整備局, 新都市社会技術融合創造研究会, 委員

大阪府, 都市基盤施設維持管理技術審議会, 委員

原子力環境整備促進・資金管理センター, 検討委員会 分野別委員会 (地質環境), 委員

原子力発電環境整備機構 (NUMO), 技術アドバイザー委員会, 委員

西日本高速道路株式会社, 新名神高速道路大阪府域 地下水流動対策検討委員会, 委員

(その他業績として記載を希望する事項)

「ふれあい土木展2015」(国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所主催)【第3回研究室対抗関西土木リーグ】にて, 奨励賞を受賞.

■ 近 藤 誠 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) リスク管理のための社会安全学 ― 自然・社会災害への対応と実践 ―	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	「ポスト3.11における災害ジャーナリズムの役割」(第11章)、関西大学社会安全学部(編)、pp.210-231.
「国難」となる巨大災害に備える～東日本大震災と福島第一原子力発電所事故から得た教訓と知見～	分担執筆	2015年9月	ぎょうせい	「報道―津波災害」、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構災害対策全書編集企画委員会(編)、pp.226-227.
救急医療 達人に学ぶ! 第3巻	分担執筆	2015年10月	真興交易医書出版部	「巨大災害をめぐるリアティの共同構築―防災・減災に向けたファーストステップ―」、磯谷栄二(編)、pp.29-40.
現場でつくる減災学 共同実践の五つのフロンティア	分担執筆	印刷中	新曜社	「ことばによる減災アクション」(第6章)、矢守克也・宮本 匠(編著).
災害情報学辞典	分担執筆	印刷中	朝倉書店	「リスクコミュニケーション」、日本災害情報学会(編)
東日本大震災 復興5年目の検証 ― 復興過程の実態と防災・減災の展望 ―	分担執筆	印刷中	ミネルヴァ書房	「ポスト3.11における災害ジャーナリズムの課題と展望」、関西大学社会安全学部(編).
(学術論文) 「羅生門問題」からみた被災地の復興過程 ― 茨城県大洗町を例に ―	共著	2015年3月	日本質的心理学会	質的心理学研究, 14号, pp.38-54.(李専昕・宮本 匠・矢守克也, 近藤誠司)(査読あり)
(その他, 論考・研究資料等) みんなの力で津波による死者をゼロに 災害情報を活かすリスク・コミュニケーション～我が事に、そして我々事に～ 地域と共に進む防災教育を目指して	単著 単著 共著	2015年1月 2015年2月 2015年2月	尼崎市 京都市防災協会 神戸市教育委員会	市報あまがさき, No.1586, p.7. 「災害に強いまちづくり講座Ⅲ 京都で備えるべき災害について」、pp.3-8. 「新たな神戸の防災教育の推進 実践事例集」、pp.38-43.
減災講座 Vol.6 災害情報を生かすには	単著	2015年3月	大阪ガスエネルギー・文化研究所	「CEL」, vol.109, pp.58-61.
“コンサマトリーな防災”に関する基礎的考察	単著	2015年9月	震災問題情報連絡会	東日本大震災研究交流会研究報告書, pp.27-30.【科学研究費・基盤研究(A)研究課題番号24243057「東日本大震災と日本社会の再建―地震、津波、原発震災の被害をその克服の道―】
命を守る災害情報～巨大災害に立ち向かうために～	単著	2015年10月	JR西日本あんしん社会財団	JR西日本あんしん社会財団広報誌「Relief」, vol.21, p.4.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 地域防災実践におけるアイデンティティの変容 ― 神戸市長田区真陽地区の津波避難対策を例に ―	共同	2015年3月14日	地区防災計画学会	第1回大会 於・宮城県民会館(仙台市), 地区防災計画学会梗概集, pp.13-16.(近藤誠司・杉山高志)
“コンサマトリーな防災”に関する基礎的考察	単独	2015年3月15日	日本社会学会	東日本大震災・震災問題連絡協議会, 於・明治学院大学
津波災害の地域防災実践の変容に関する一考察 ― 神戸市長田区真陽地区を例に ―	共同	2015年8月9日	社会貢献学会	社会貢献学会第6回大会, 於・東北福祉大学(杉山高志・近藤誠司)
校内放送を活用した防災学習プログラムの開発 ― 神戸市長田区真陽小学校における実践から ―	共同	2015年9月25日	日本自然災害学会	第34回日本自然災害学会, 於・山口大学, 学術講演会講演概要集, pp.157-158.(近藤誠司・杉山高志・山内翔眞)
災害漫画における可視化の模索 ― 福島3つのインビジブルを例に ―	単独	2015年9月26日	日本災害復興学会	日本災害復興学会2015年度学会大会, 於・専修大学, 予稿集, pp.66-67.
「ほうさいCREDO」のポテンシャルに関する基礎的考察	共同	2015年10月4日	日本質的心理学会	日本質的心理学会第12回大会, 於・宮城教育大学, 大会プログラム抄録集, p.82.(近藤誠司・杉山高志)

校内放送を活用した減災アクション・リサーチ	共同	2015年10月11日	日本グループ・ダイナミクス学会	日本グループ・ダイナミクス学会第62回大会, 於・奈良大学, 発表論文集, pp.36-37. (近藤誠司・杉山高志)
ワークショップ1「現代社会の存立構造」から考える——3.11後の社会構想論のために——	共同	2015年10月12日	日本グループ・ダイナミクス学会	日本グループ・ダイナミクス学会第62回大会, 於・奈良大学, 発表論文集, p.1. (宮本 匠・矢守克也・城下英行・近藤誠司)
「ほうさいマイ CREDO」のポテンシャル	共著	2015年10月25日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第17回研究発表大会, 於・山梨大学, 大会予稿集, pp.116-117. (近藤誠司・杉山高志)
(招待講演)				
阪神・淡路大震災20年～神戸市長田区真陽地区で起きたこと～	単独	2015年 1月17日	神戸市立真陽小学校	真陽小学校追悼式典, 真陽小学校体育館
自助・共助で命を守るヒントを学ぶ	共同	2015年 1月17日	国土交通省近畿地方整備局・気象庁大阪管区气象台	阪神・淡路大震災20年シンポジウム「南海トラフ巨大地震に備える～命を守るヒントを学ぶ～」, 第2部パネルディスカッション, グランフロント大阪ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンターC
防災研究機関の連携の方向性	共同	2015年 1月21日	人と防災未来センター	防災研究機関連携の方向性を考える座談会, 神戸国際会議場406会議室
Comunicación de las informaciones sobre desastres por los medios masivos de comunicación	単独	2015年 1月22日	JICA 関西	Curso "Medidas de Prevención de Desastres para Centroamérica", 2014年度課題別研修「中米防災対策」コース, JICA 関西
“非専門家”の声	共同	2015年 1月24日	日本地震学会・日本活断層学会・日本地震工学会	阪神・淡路大震災20年シンポジウム「地震被害の軽減に向けた研究者たちのメッセージ～阪神・淡路大震災20年：地震関連科学の到達点と新たな決意」, 話題提供, 兵庫県私学会館大ホール
わたしの「震災20年」	共同	2015年 1月26日	KOBE 虹会	第47回 KOBE 虹会, 神戸市教育会館
クロスロードで学ぶ防災・減災対策	単独	2015年 2月24日	尼崎市危機管理室	尼崎市職員防災研修, 尼崎市立教育総合センター (基調講演, WS コーディネーション, 総括指導)
今, 自主防災組織が取り組むべきことは? ～抱える悩みを共有し, 解決策を考えよう～	共同	2015年 2月26日	大阪府内市町村防災対策協議会三島ブロック	平成26年度自主防災組織指導者育成セミナー, 第3部パネルディスカッション, 吹田市勤労者会館
校内放送を活用した循環型学習プログラムの開発	単独	2015年 3月 4日	神戸市危機管理室	神戸発防災・減災等プログラム事業 成果発表会, 神戸市危機管理センター本部員会議室
情報整理術～ペタペタの使い方～	単独	2015年 3月23日	次世代防災研究者連盟	次世代防災研究者連盟第1回研究発表大会, 神戸市しあわせの村
防災・減災を「我が事」として考える——巨大災害に立ち向かうために——	単独	2015年 4月21日	大阪府私学高等学校家庭科研究会	大阪府私学高等学校家庭科研究会, 大阪府立男女共同参画・青少年センター (ドーンセンター)
災害クロスロード 須磨バージョン	単独	2015年 5月17日	1.17 DRINKS	1.17 DRINKS, 須磨海浜公園
第6回 いのちを守る災害情報～リアリティの共同構築を目指して～	単独	2015年 5月21日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部・連続セミナー「安全・安心社会を創り出すための社会安全学」, 関西大学東京センター
いのちを守る災害情報——リアリティの共同構築を目指して——	単独	2015年 6月 4日	震災対策技術展・大阪 実行委員会	第2回震災対策技術展 (大阪), コングレコンベンションセンター (グランフロント梅田)
災害情報の受発信手法	単独	2015年 6月17日	人と防災未来センター	自治体職員災害対策研修マネジメントコース・エキスパートB, 人と防災未来センター
総会挨拶 地域防災の動向	単独	2015年 6月27日	防災士会大阪府支部	防災士会大阪府支部総会, 大阪市阿倍野区民センター
地域防災のコツとツボ——「我が事」に, そして「我々事」に——	単独	2015年 7月 9日	高槻市立城南中学校	高槻市立城南中学校・PTA 地域懇談会, 城南中学校
地区防災計画モデル事業について	単独	2015年 7月31日	真陽防災福祉コミュニティ	地区防災計画モデル事業キックオフミーティング, 神戸市長田区真陽地域福祉センター

研究業績

防災・減災対策のファースト・ステップ	単独	2015年8月3日	尼崎市教育総合センター	尼崎市防災・安全教育研修, 尼崎市立教育総合センター(基調講演, WSコーディネーション, 総括指導)
ポスト3.11の災害報道における課題と展望	単独	2015年8月5日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部・社会安全学セミナー(2015年度第7回), M910教室
防災教育と安全管理充実策のコツとツボ	単独	2015年8月7日	関西大学・高大連携グループ	大阪府・大阪市教職員対象研修講座, 関西大学社会安全学部 M602教室
知っとく納得! 災害情報	単独	2015年8月22日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部サマーキャンパス, 関西大学社会安全学部
福島を支援するにあたって	単独	2015年8月25日	京都府京丹波町	京丹波町職員ベンチャー有志勉強会, 京都府京丹波町総合情報センター会議室
安全教育を考える——自助・共助・公助の意味——	単独	2015年8月26日	高槻市立五領小学校	高槻市立五領中学校区公開研究授業, 高槻市立五領小学校視聴覚室
命を守る災害情報～巨大災害に立ち向かうために～	単独	2015年8月27日	JR西日本あんしん社会財団	公益財団法人JR西日本あんしん社会財団安全セミナー, 神戸新聞松方ホール
総括 inspire/in spirits	単独	2015年9月15日	次世代防災研究者連盟	次世代防災研究者連盟サマースクール, 京都大学阿武山観測所
10 years	単独	2015年9月19日	関西なまずの会	関西なまずの会合宿, 京都大学阿武山観測所
災害に立ち向かうための第一歩～我が事に、我々事に～	単独	2015年11月1日	尼崎市難病団体連絡協議会	第14回尼崎市難病団体連絡協議会講演交流会・要援護者災害支援シンポジウム, 尼崎市立すこやかプラザ多目的ホール
映像コンテンツを活用した「防災学習」の紹介	単独	2015年11月4日	大阪府教育センター	大阪府10年目経験者研修(小学校・中学校), 大阪府教育センター
映像コンテンツを活用した「防災学習」の紹介	単独	2015年11月11日	大阪府教育センター	大阪府10年目経験者研修(小学校・中学校), 大阪府教育センター
「ほうさいCREDO」のポテンシャル	単独	2015年11月14日	科学技術振興機構科学コミュニケーションセンター	サイエンスアゴラ2015 地域発の問題解決型科学コミュニケーションが創る未来, 産業技術総合研究所臨海副都心センター別館11階
映像コンテンツを活用した「防災学習」の紹介	単独	2015年11月18日	大阪府教育センター	大阪府10年目経験者研修(高等学校・特別支援), 大阪府教育センター
トラメガを使った津波避難の呼びかけルール	単独	2015年11月28日	真陽防災福祉コミュニティ	津波が来ても、無事全員避難! 真陽地区 防災シンポジウム, 真陽小学校体育館
巨大災害に立ち向かう	単独	2015年12月8日	高槻市立城南中学校	高槻市立城南中学校区地区合同防災訓練事前学習会, 城南中学校体育館
防災教育の進展に向けて	単独	2015年12月11日	神戸市教育委員会	神戸発「生きる力を育み 未来へつなぐ」防災教育研究大会・分科会5「大学や関係機関との連携」, 真陽小学校理科室
「ほうさいCREDO」身近なメディアの活用	単独	2015年12月15日	福島県双葉町	情報交換会, 福島県双葉町(いわき庁舎)
福祉力と防災力を向上するために～地域づくりと人づくり～	単独	2015年12月19日	尼崎市・尼崎市社会福祉協議会	尼崎市市制100周年プレ記念事業 あまがさき地域福祉フェスタ～ささえあい、つながりあえる地域づくり～, あましんアルカイクホール【基調講演, パネルディスカッションのコーディネーター】
防災訓練講評: 災害対応は実力テスト	単独	2015年12月21日	高槻市立城南中学校	高槻市立城南中学校区合同地区防災訓練, 城南中学校理科室
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・研究活動スタート支援	代表	2014年度～2015年度	1,170千円(2,500千円)	地域防災に資する災害報道のベターメントを目指した基礎的研究
文部科学省・特別経費(プロジェクト分) 巨大地震津波災害に備える次世代型防災・減災社会形成のための研究事業——先端的防災研究と地域防災活動との相互参画型実践を通して——	中核研究プロジェクトリーダー	2012年度～2015年度	1,000千円	「ほうさい夢トーク」プロジェクト 減災を進める“等身大の科学”

社会安全学研究 第6号

科学技術振興機構 SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)「レジリエントな防災・減災機能の強化」	協力者	2014年度～ 2018年度	500千円	津波避難訓練および支援ツールの開発研究
科学技術振興機構 JST 平成27年度科学技術コミュニケーション推進事業 問題解決型科学技術コミュニケーション支援機関活動支援型	研究代表者	2015年度	990千円	「防災まちづくり支援ツール・防災CREDOマップの開発」
東京大学地震研究所・平成27年度拠点間連携共同研究・課題募集型7 実践的人材育成の仕組みに関する研究	協力者	2015年度	1048千円	先駆的研究者のオーラルヒストリーから探る地震・火山分野の人材育成モデル

以下、フリー記入

(所属学会)

日本自然災害学会
日本災害情報学会(学会誌編集委員)
日本災害復興学会(学会誌編集委員・幹事)
日本グループ・ダイナミックス学会
日本質的心理学会
日本安全教育学会
社会貢献学会(学術委員)
地区防災計画学会

(社会貢献活動)

大阪府堺市「避難勧告の判断・伝達マニュアル(河川氾濫・土砂災害)の更新に係る意見聴取会」委員
内閣府「平成27年度地区防災モデル事業」地域アドバイザー(神戸市長田区真陽地区)
京丹波町「職員ベンチャー」アドバイザー
「災害メモリアルアクション」企画委員

(出演・投稿)

ラジオ原稿 FM802「Tacty in the Morning—Travel with Tacty—」 「孫子の兵法で防災を」(2015年1月13日)
ラジオ原稿 FM802「Tacty in the Morning—Travel with Tacty—」 「非常用持ち出し品はこう準備する」(2015年1月15日)
ラジオ出演 NHKラジオ第一(関西ローカル)ほうさいコラム「桜島 大正噴火の教訓」(2014年2月26日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「災害情報の大切さ」(2015年4月11日放送)
ラジオ出演 NHKラジオ第一(関西ローカル)ほうさいコラム「入門 災害情報を生かすために」(2015年4月30日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「近助と遠助」(2015年5月9日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「おはしもて、いかのおすし」(2015年6月13日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「ご存知ですか、災害漫画」(2015年7月11日放送)
ラジオ出演 OBC「News Tonight いいおとな」 「関西大学社会安全学部近藤研究室の紹介」(2015年7月13日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～関西における防災の取り組み～」 「関西大学社会安全学部近藤研究室の紹介」(2015年8月1日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「夏休みにオススメ、防災学習施設」(2015年8月8日放送)
ラジオ出演 NHKラジオ第一(関西ローカル)ほうさいコラム「災害漫画に学ぶ」(2015年8月20日放送)
ラジオ出演 OBC「防災の日スペシャル 守れる命 ～災害に対する備え方～」(2015年8月29日放送)
テレビ出演 京丹波CATV「京丹波ウイークリー」 「ほうさいCREDO 第1回」(2015年8月29日～9月4日連続放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「非常用持ち出し品を準備するコツ」(2015年9月12日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「桜島・大正噴火の教訓」(2015年10月10日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「ほうさいCREDOの取り組み紹介」(2015年11月14日放送)
テレビ出演 京丹波CATV「京丹波ウイークリー」 「ほうさいCREDO 第2回 京丹波ときめき女子編」(2015年12月5日～12月11日連続放送)
ラジオ出演 NHKラジオ第一(関西ローカル)ほうさいコラム「ほうさいCREDO」(2015年12月10日放送)
ラジオ出演 OBC「救える命～近藤先生の“ちょこっとほうさい”～」 「校内放送を活用した防災学習」(2015年12月12日放送)

(報道)

C+Bousai(2015年1月号) vol.2 「60分ルールで津波から守る 訓練のリアリティを追求する」, pp.8-11.
読売新聞大阪版朝刊(2015年1月18日) 「教訓 胸に刻み 巨大地震備え シンボや防災訓練」
河合塾(2015 SPECIAL号) 「栄冠めざして」 「災害ジャーナリズム論 一人でも多くの命を守り救うために」, p.180.
京都新聞朝刊(2015年8月27日) 「京丹波の防災 番組に 関大生、住民取材」
神戸新聞朝刊(2015年8月28日) 「災害情報, “わが事”に JR西財団 神戸でセミナー」
防災情報新聞(2015年11月9日) 「要援護者災害支援シンポジウム」 — “社会的逆機能”の克服へ

研 究 業 績

<p>東京新聞社説（2015年8月9日）社説「福島が伝わらない」</p> <p>中日新聞社説（2015年8月9日）社説「福島が伝わらない」</p> <p>「ケーブル新時代」（2015年11月号）「関西大学と共同で防災番組制作 地域の防災意識向上と魅力再発見」, p.26.</p> <p>神戸新聞朝刊（2015年11月29日）「メガホン合図で避難 神戸・長田で真陽ルール」</p> <p>毎日新聞地域版朝刊（2015年11月29日）「南海トラフ巨大地震 神戸市長田・真陽地区、津波避難ハンドマイクでサイレン機能活用へ」</p> <p>毎日新聞大阪府域版朝刊（2015年12月11日）「ほうさい甲子園 児童と防災放送 教科アイデア賞、関大・近藤研究室 SKH」</p> <p>NHK 神戸放送局（2015年12月15日・兵庫県域）「ニュース KOBE 発・あの日を胸に」「校内放送で学ぶ防災」</p> <p>NHK 大阪放送局（2015年12月17日・関西エリア）「ニュースほっと関西」「阪神・淡路大震災21年 給食の時間に防災学習」</p> <p>毎日新聞阪神地域（2015年12月20日）「防災の取り組み学ぶ 福祉フェスタ 550人熱心に聞く」</p> <p>読売新聞大阪本社朝刊・科学面（2015年12月7日）「大地震7年 四川復興に差」</p> <p>読売新聞東京本社夕刊・科学面（2015年12月24日）「四川大地震7年 復興した町 遅れた山岳部」</p>
<p>（その他業績として記載を希望する事項）</p> <p>京都大学防災研究所 非常勤講師（京都大学大学院情報学研究所、京都大学工学部のリレー講義を担当）</p> <p>徳島大学大学院先端技術科学教育学部 非常勤講師</p> <p>神戸学院大学（学際教育機構）非常勤講師</p> <p>NHK ラジオ第一放送・関西ラジオワイド「ほうさい夢トーク」企画・取材・構成・編集アドバイザー（30分番組を年間6本制作）</p> <p>KOBE 虹会（主宰）、次世代防災研究者連盟（代表世話人）、関西なまずの会（世話人／副会長）</p> <p>1.17防災未来賞「ほうさい甲子園」教科アイデア賞受賞</p>

■ 城 下 英 行

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 正統的周辺参加理論に基づく防災学習の実践	共著	2015年8月	日本自然災害学会	岩堀卓弥・宮本匠・矢守克也・城下英行著. 自然災害科学, 第34巻第2号, pp.113-128 (査読有り)
Immediate Behavioral Responses to Earthquakes in Christchurch New Zealand and Hitachi Japan	共著	2015年8月	Overseas Development Institute	Michael K. Lindell, Carla S. Prater, Hao Che Wu, Shih-Kai Huang, David Johnston, Julia Becker and Hideyuki Shiroshita 著. Disasters, pp.85-111, DOI:10.1111/disa.12133. (査読有り)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表(自発表のみ)) Co-learning in Nepal: How can we learn from each other? Realising co-learning between experts and non-experts	単独	2015年3月17日	Kansai and Leicester Universities	Workshop on Emerging Trends in Disaster Risk Reduction (Side event of UNWCDRR 2015), Sendai, Japan
How Do We Learn? From Disaster Education to Disaster Co-Learning	単独	2015年8月9日	International Council for Central and East European Studies	ICCEES IX World Congress 2015, Makuhari, Japan
防災科学の境界——『自然災害科学』を手がかりに——	単独	2015年9月24日	日本自然災害学会	第34回日本自然災害学会学術講演会, 山口大学
How Can We Communicate about Disasters? -Difference between Disaster Education and Science Communication-	単独	2015年10月3日	Asia-Pacific Science, Technology and Society	APSTSN Biennial Conference: Disasters, Controversy and Public Engagement, Kaohsiung, Taiwan
An Action Research on Exploring Disaster Reduction Activities Embedded in the Daily Life	単独	2015年11月13日	Society for Social Studies of Science	40th annual meeting of the Society for Social Studies of Science, Denver, USA
災害の事故化	単独	2015年11月22日	科学技術社会論学会	第14回年次研究大会, 東北大学
(招待講演) Is Disaster Education just Knowledge Transmission? Changing Disaster Education into Disaster Co-learning	単独	2015年1月14日	University of the Philippines Baguio	2015 International Conference on Building Resilience and Developing Sustainability, Baguio, Philippines
(招待講演(講演会・研修等)) 学校における防災教育の展開		2015年1月20日		高槻市教員初任者研修, 高槻市教育センター
泉大津版クロスロードについて		2015年6月16日		泉大津市教員研修, 泉大津市役所
学校における防災教育の充実		2015年10月2日		平成27年度「京の子どもを守る」講座, 京都府総合教育センター
防災の学びを考える——市民が主役の防災学習——		2015年10月25日		災害に強いまちづくり講座Ⅱ第1回講座, 京都市市民防災センター
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	分担	2014年度～2018年度	400千円 (2000千円)	新しい津波避難支援ツールの開発に関するアクションリサーチ——巨大想定に挑む——
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	分担	2015年度～2017年度	300千円 (900千円)	被災者参画による原子力災害研究と市民復興モデルの構築: チェルノブイリから福島へ

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 日本自然災害学会 日本安全教育学会 日本災害情報学会 地域安全学会 日本地震工学会 大学教育学会 科学技術社会論学会
(社会貢献活動) 大阪府立吹田東高等学校 学校協議会 委員 大阪府 防災教育推進委員会 委員長 泉大津市 防災会議 委員 泉大津市 セーフコミュニティ推進協議会 委員 埼玉県防災学習センターあり方検討委員会 委員
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター 共同研究員 一般社団法人 地域原子力防災支援協議会 理事 平成27年度教員免許状更新講習「安全教育：防災と情報セキュリティ」 講師（防災領域）

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 災害ボランティア ～1.17から20年の軌跡と今後の課題	単著	2015年1月	都市住宅学会	都市住宅学会編『都市住宅学』88号、pp.33-37.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 災害に関わる市民活動の可能性と課題 ～阪神・淡路大震災から中越地震を経て東日本大震災へ	単独	2015年10月4日	日本社会病理学会	日本社会病理学会シンポジウム「東日本大震災：記憶と未来」(於：岩手大学)
(招待講演) 災害ボランティアセンターの運営と社会福祉協議会	単独	2015年2月8日	兵庫県社会福祉協議会	これからの「災害ボランティアセンター」を考える全国フォーラム(於：ポートピアホテル南館)
減災と市民活動 ～災害多発時代を乗り越えるために	単独	2015年6月4日	震災対策技術展大阪実行委員会	「震災対策技術展」大阪セミナー(於：グランフロント大阪・コングレコンベンションセンター)
記憶を記録にして伝える ～過去を未来につなげる社会調査	単独	2015年8月25日	(公財)中越防災安全推進機構	中越メモリアル回廊・災害ボランティア研究会(於：おちや震災ミュージアム「そなえ館」)
ボランティアによる復旧・復興支援のチカラ ～歴史と実践に学ぶ	単独	2015年9月24日	長岡市	まちなかキャンパス「災害時に必要な市民の力を考える」(於：長岡市まちなかキャンパス)
ボランティアが拓く関係性(基調講演、パネルディスカッション・コメンテーター)	単独	2015年10月24日	(公財)中越防災安全推進機構	新潟県中越地震11周年祈念シンポジウム「ボランティアが地域を変えた、地域がボランティアを変えた」(於：長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」)
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費(基盤研究C)	研究代表者	2015年度～2017年度	600,000円 (2,204,000円)	災害過程における市民活動の役割に関する社会学的研究
文部科学省科学研究費(基盤研究B)	研究分担者	2014年度～2016年度	200,000円 (2,600,000円)	「空間なきコミュニティ」における避難者の生活構造の再編に関する社会学的研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会、地域社会学会、日本都市学会・関東都市学会、 日本災害復興学会、日本災害情報学会、地域安全学会、日本自然災害学会				
(社会貢献活動) 高槻市地域防災会議 委員(平成24年3月～現在に至る) 内閣府「大規模災害時におけるボランティア活動の広域連携に関する有識者会議」有識者メンバー(平成25年度～27年3月まで) 日本財団「災害ボランティアリーダー人材育成プログラム策定委員会」委員(平成26年10月～現在に至る) (公財)中越防災安全推進機構・中越メモリアル回廊「災害ボランティア研究会」委員(平成27年度～現在に至る) 内閣府「広く防災に資するボランティア活動の促進に関する検討会」委員(平成27年12月～現在に至る) 「震災がつなぐ全国ネットワーク」幹事(平成16年度～現在に至る)				

研究業績

■ 永田 尚三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 災害時における消防行政の課題	共著	2015年3月	ミネルヴァ書房	リスク管理のための社会安全学：自然・社会災害への対応と実践、関西大学社会安全学部編・秋山まゆみ、安部誠治、小澤守、河田恵昭、川口寿裕、金子信也、桑名謹三、小山倫史、近藤誠司、高野一彦、中村隆宏、永田尚三、永松伸吾、林能成、元吉忠寛、山崎栄一、第9章(P167-187)担当
日本の政策過程	共著	2015年4月	芦書房	日本の政治と行政、笠原英彦、桑原英明編・石上泰州、小川原正道、門松秀樹、小島和貴、柏原宏紀、永田尚三、水戸克典、増田正、佐藤公俊、第3章担当
(学術論文) 消防行政の課題と今後向かうべき方向性の検討	単著	2015年3月	日本地域政策学会	日本地域政策研究、第14号、P12-21(依頼論文)
鬼怒川堤防決壊における公助・共助の課題：見えてきたわが国の地域公助・共助の弱体化	単著	2015年12月	政策研究フォーラム	改革者、第56巻12月号(通号665)、P48-51(依頼論文)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 地域防災計画原子力災害対策編をめぐる行政間関係の研究——行政のコピペから見る地方公共団体の原子力防災対策の現状と課題——	単独	2015年10月4日	日本行政学会	日本行政学会科学技術と災害部会、明治大学駿河台キャンパス
(招待講演) マルチハザードに対応するための消防団を中心とした共助組織の検討	共同	2015年9月1日	京都府	京都府庁内ベンチャー事業研究成果報告会、職員福利厚生センター 2階「健診ホール」
わが国の行政の災害対策史——戦前の防災行政は現在の災害対策にどのような影響を及ぼしているのか？——	単独	2015年10月4日	国立公文書館	平成27年秋の特別展「災害に学ぶ——明治から現代へ——」講演会、国立公文書館4階会議室
マルチハザードに対応するための消防団を中心とした共助組織の検討	共同	2015年10月5日	京都府	京都府庁内ベンチャー事業報告会知事前プレゼン、ルビノ京都堀川(地下1階「平安」)
都市防災と消防行政	単独	2015年10月6日	関西社会人大学院連合	平成27年度大阪市隣接都市協議会研修、関西学院大学大阪梅田キャンパス
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費 基盤 (C)	代表	2013~2015	1430 (4810)	住民防災組織の活性化策の比較研究——住民防災組織内の専門性——
JR西日本あんしん社会財団 平成27年度研究助成	代表	2015	2000 (2000)	マルチハザード時代の共助体制及び共助組織に関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本行政学会、日本公共政策学会(日本公共政策学会関西支部運営委員)、日本政治学会、日本オンブズマン学会(理事)、日本地域学会 日本計画行政学会、日本法政学会				
(社会貢献活動) 一般社団法人地域原子力防災支援協議会(代表理事) 政策研究フォーラム(評議員)				
(その他業績として記載を希望する事項) 日本公共政策学会「公共政策フォーラム 2015 in 釧路」「大学生による政策コンペ」で、永田ゼミナールが釧路市議会議長賞受賞				

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) リスク管理のための社会安全学	分担執筆			関西大学社会安全学部編. 第8章「鉄道における津波避難の課題」(p.144-166).
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 地球科学における学際的分野への参入過程～島津康男教授・熊沢峰夫教授のオーラルヒストリーから～	共同	2015年5月24日	日本地球惑星科学連合	日本地球惑星科学連合大会 於 幕張メッセ
(招待講演) 地震と火山噴火にどう備えるか	単独	2015年4月26日	近畿ブロック臨床心理士会	被害者支援合同研修 於 きたのホール
地震計測実習	単独	2015年5月30日	静岡大学防災総合センター	ふじのくに防災フェロー養成講座 於 静岡大学
巨大地震に備える地域防災	単独	2015年6月13日	中部電力	中部電力原子力安全技術研究所研究発表会・基調講演 於 御前崎市民会館
地震・津波情報と避難～緊急地震速報と津波警報～	単独	2015年11月12日	高知大学	高知大学共通教育教養科目「災害と生きる」 於 高知大学
災害の伝承を考える～1999年台湾集集地震の事例から～	単独	2015年11月20日	(一社)日本金属プレス工業会	理事会特別講演 於 リーガロイホテル大阪
地震に備える基礎知識～被害軽減・事業継続・事業承継～	単独	2015年11月28日	関西大学科学技術振興会	平成27年度第4回研究会 於 関西大学 校友・父母会館2階会議室
地震災害論	単独	2015年12月24～25日	静岡大学	大学院総合科学技術研究科集中講義 於 静岡大学
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 東京大学地震研究所・京都大学防災研究所拠点間連携共同研究	代表	2015	1,170 (1,170)	先駆的研究者のオーラルヒストリーから探る地震・火山分野の人材育成モデル
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本地震学会, 代議員, 大会・企画委員, 「地震」編集委員 歴史地震研究会, 総務委員長 American Geophysical Union Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会				
(社会貢献活動) 日本金属プレス工業協会, 安全環境委員会, 委員, 2013-. 中部電力, 原子力安全技術研究所 アドバイザリ・コミッティ 委員, 2013- 公益社団法人日本地震学会, 代議員, 2006-. 歴史地震研究会, 総務委員長, 2015-. 静岡大学防災総合センター客員准教授, 2011-. 静岡大学大学院総合科学技術研究科非常勤講師, 2015.				
(その他業績として記載を希望する事項) 国立台湾大学, Visiting Scholar, 2015.8-2015.9.				

研究業績

■元吉忠寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) リスクコミュニケーション	分担執筆	2015年1月	新曜社	楠見孝・道田泰司(編)ワードマップ批判的思考 Pp.222-227.
被災者による被災者支援の効果 —宮城県多賀城市の事例から—	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編)リスク管理のための社会安全学 Pp.191-209.(永松伸吾・元吉忠寛・金子信也)
(学術論文) 防災教育に対する教師の知識と態度	単著	2015年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, 5, 3-13.(査読有)
東日本大震災後の放射線リスクコミュニケーション	共著	2015年3月	社会安全学部	社会安全学研究, 5, 75-79.(元吉忠寛・吉田佳督)(査読なし)
(その他, 論考・研究資料等) 東日本大震災後のわが国のあり方についてのシナリオ分析 — 2013年, 2014年調査報告 —	共著	2015年11月	日本リスク研究学会	http://www.sra-japan.jp/cms/uploads/311second_third_survey.pdf (前田恭伸・瀬尾佳美・元吉忠寛) Pp.1-27.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Correlates of intentions to adapt seismic hazard adjustments after the 2011 Great East Japan Earthquake.	単独	2015年6月15日	Society for Risk Analysis Europe	The 24th SRA-Europe 2015 conference, Maastricht, Netherlands.
School teachers' knowledge and attitude toward disaster prevention education in Japan.	単独	2015年7月9日	European Federation of Psychologists' Associations	The 14th European Congress of Psychology, Milan, Italy.
家庭における防災行動と制御焦点	単独	2015年10月12日	日本グループ・ダイナミックス学会	日本グループ・ダイナミックス学会第62回大会, 奈良大学
2011年東日本大震災後のわが国の社会についてのシナリオ分析	共同	2015年11月21日	日本リスク研究学会	日本リスク研究学会第28回年次大会, 名古屋大学
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2014~17年度	1,170 (3,770)	防災行動における制御焦点と感情の役割の解明
科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)研究開発領域「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」	分担	2013~16年度	1,144 (7,160)	大規模災害リスク地域における消防団・民生委員・自主防災リーダー等も守る「コミュニティ防災」の創造
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会, 日本教育心理学会(編集委員), 日本グループ・ダイナミックス学会(理事, 編集委員), Asian Association of Social Psychology, 日本社会心理学会(理事, 編集委員), 日本リスク研究学会, Society for Risk Analysis, 地域安全学会, Society for Personality and Social Psychology, International Association of Applied Psychology, American Psychological Association				
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター共同研究員				

■ 秋山 まゆみ

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) リスク管理のための社会安全学	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編「第1章 消費生活における安全と消費者庁の消費者行政」pp.3～19担当
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(招待講演) 消費者庁における消費者行政の概要と動向	単独	2015年5月	経営倫理実践研究センター	第2回コンプライアンス担当者の為の法令研究会「消費者保護法制とコンプライアンス経営」, 海事センタービル
経済社会の基礎知識	単独	2015年7月	富山県消費生活センター	平成27年度消費生活相談員養成支援講座, 県民共生センター(富山県)
消費者の安全と法 — 消費者利益と企業責任 —	単独	2015年7月	関西大学社会安全学部	第15回東京連続セミナー「安全・安心社会と社会安全学」, 関西大学東京センター
暮らしの中の隠れた危険から身を守る	単独	2015年11月	関西大学社会安全学部	第22回関西大学高槻ミューズキャンパス公開講座「安心・安全な生活は知識と行動から!～暮らしの中の消費生活問題を考える～」, 関西大学高槻ミューズキャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本経済法学会 日本国際経済法学会 日本経営倫理学会 日本公共政策学会				
(社会貢献活動) 公正取引委員会・関西経済法研究会 東京経済法研究会				

研究業績

■ 金子 信也

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) リスク管理のための社会安全学 — 自然・社会災害への対応と実践 —	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部・永松伸吾・元吉忠寛・金子信也、第10章「被災者による被災者支援の効果 — 宮城県多賀城市の事例から —」, pp.191-209 (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
(学術論文) Mental Health of Temporary Housing Residents in Japan 震災被災者の精神健康調査	単著 単著	2015年3月 2015年5月	日本リスクマネジメント学会 ソーシャル・リスクマネジメント学会	危険と管理, 第46巻, pp.170-180, 査読有 実践危機管理, pp.81-85, 査読有
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 東日本大震災被災者の精神健康調査 運輸関係者の意識調査 運輸関係者の精神健康調査 (2)	単独 単独 単独	2015年2月21日 2015年3月28日 2015年5月14日	ソーシャル・リスクマネジメント学会 日本衛生学会 日本産業衛生学会	SRM学会関西部会 (大阪商業大学 [大阪府東大阪市]) 第85回日本衛生学会学術総会 (和歌山県民文化会館 [和歌山県和歌山市]) 第88回日本産業衛生学会 (グランフロント大阪 [大阪府大阪市])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成27年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本公衆衛生学会 日本リスクマネジメント学会 (評議員・AMAROK Japan 主任研究員) ソーシャル・リスクマネジメント学会 (事務局長代理)				
(社会貢献活動) 未来 (あす) のトラック研究会委員 高槻市自殺対策連絡協議会委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 高槻市自殺対策連絡協議会 パネリスト (2015年2月9日, 高槻市役所) 一般社団法人 運輸中小企業区域変革物流協会 理事会・合同会議 パネリスト (2015年2月16日, ホテル・アゴラ大阪守口) 『物流新時代』 2015年3月5日(木) 記事掲載「自殺願望・うつ傾向が16.7% トラックドライバーの精神健康状態を調査 — 近畿圏のドライバー192名対象 —」 一般社団法人 運輸中小企業区域変革物流協会 理事会・合同会議 パネリスト (2015年3月14日, ホテル・アゴラ大阪守口) 一般社団法人 国土政策研究会 トラック実運送研究部会 産学共同会議 パネリスト (2015年5月23日, ホテル・アゴラ大阪守口) 日本リスクマネジメント学会 ソーシャル・リスクマネジメント学会 合同総合部会 (2015年6月20日, 関西大学100周年ホール) ソーシャル・リスクマネジメント学会 研修研究会 (2015年7月4日, 吹田市民会館) 関西大学オープンキャンパス サマーキャンパス 「あなたの性格を振り返ってみませんか?」 (2015年8月1日, 関西大学千里山キャンパス)				

研究業績書（大学院生）

氏名	著書、学術論文等の名称	分担執筆 単著・共著	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有もしくは査読相当の場合はその旨
【論文（査読有り）】					
<博士2年> 小園 裕司	津波波力に基づく建物倒壊を考慮した津波解析の検討	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2（海岸工学）、小園裕司、高橋智幸、椋庭雅明、野鳥和也、Vol.71、No.2 pp.I_163-I_168、査読有
門廻 充侍	地震規模の不確かさを考慮した多数津波シナリオ設定モデルとその適用例	共著	2015年6月	土木学会	土木学会論文集B3（海洋開発）、門廻充侍、高橋智幸、Vol.71、No.2、pp.I_545-I_550、査読有
門廻 充侍	海洋レーダを用いた南海トラフでの津波波源および伝播観測の適地選定	共著	2015年11月	土木学会	土木学会論文集B2（海岸工学）、門廻充侍、高橋智幸、Vol.71、No.2、pp.I_343-I_348、査読有
【学会発表】					
<博士2年> 門廻 充侍	大すべり域、超大すべり域、破壊開始点および地震規模の不確かさを考慮した多数津波シナリオの提案と南海トラフへの適用例	共同	2015年5月27日	日本地球惑星科学連合	日本地球惑星科学連合2015年大会、幕張メッセ国際会議場、門廻充侍、高橋智幸、HDS27-P15
<修士2年> 静間 健人	気分が透明性の錯覚に与える影響：SNSに関するリスク・コミュニケーション場面での検討	共同	2015年10月31日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第56回大会、東京女子大学、土田昭司 P112-02
<修士1年> 亀田 知沙	The development of Augmented Reality visualization technology for tsunami risks with a camera-embedded eyeglass	共同	2015年6月29日	International Union of Geodesy and Geophysics	26th IUGG General Assembly, Prague, Kameda, C. and T. Takahashi, JP05p-008
丸井 和彦	Estimation of the value of moral damages of the residents in non-mandatory evacuation area of 2011 nuclear power plant accident of Fukushima.	共同	2015年10月29日	IDRiM Society	International Society for Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) 2015 Conference, Delhi, India, MARUI, K and NAGAMATSU, S
【その他、論考・研究資料等】					
<修士1年> 丸井 和彦	第6回国際総合災害リスクマネジメント学会（International Society for Integrated Disaster Risk Management）若手研究者セッション（ポスター発表）において、第3位を獲得				